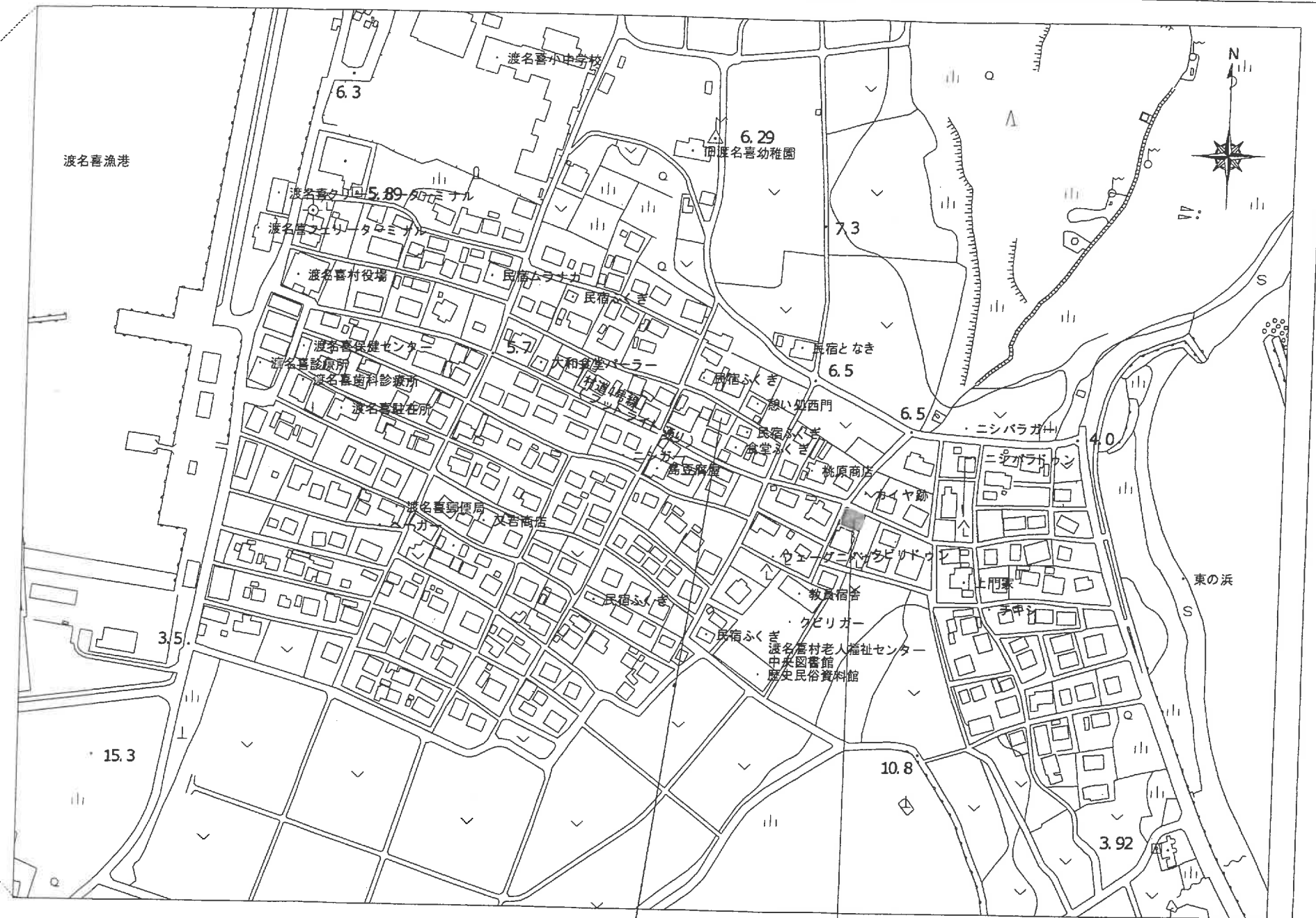
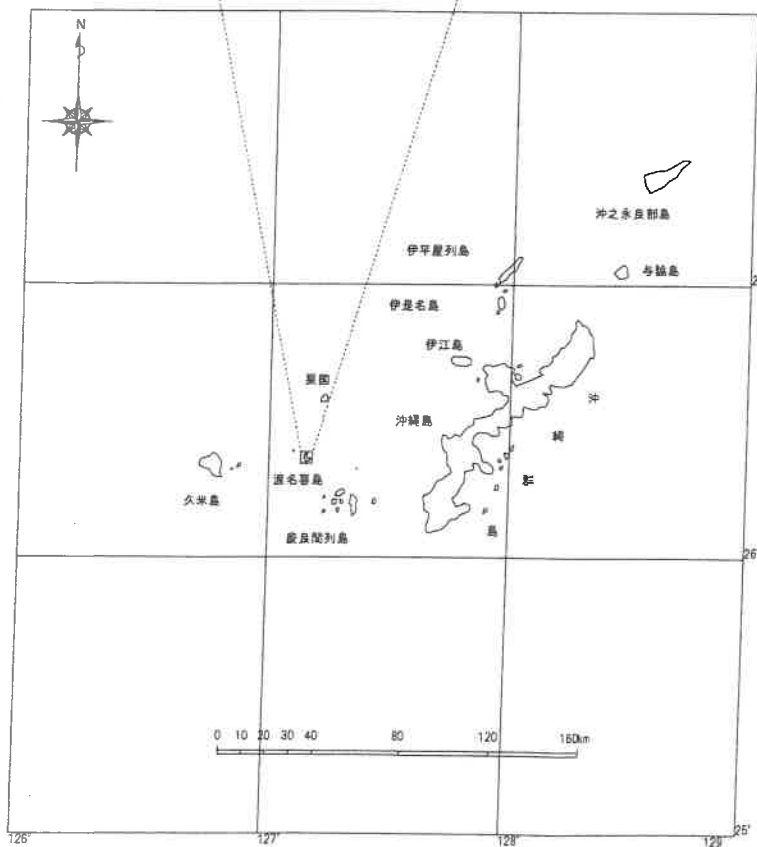
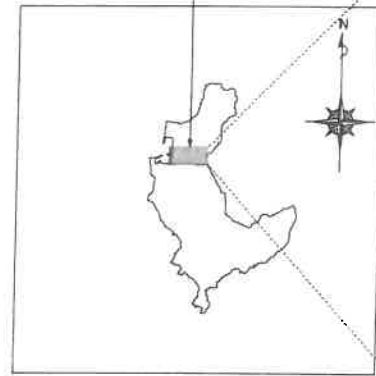


計画地：沖縄県島尻郡渡名喜村
Aタイプ(1835番地1)



計画地(Aタイプ)沖縄県島尻郡渡名喜村1875番地

計画地(Aタイプ)沖縄県島尻郡渡名喜村1835番1

案内図・付近見取図 NO SCALE

工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	案内図・付近見取図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	NO SCALE
摘要	図面番号 A-05		
検印	管理課長	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	眞志保 博基	
	登録番号	1級建築士登録番号144-33号 1級建築士(次郎)登録番号320997号	
所在地	沖縄県島尻郡渡名喜村3丁目61番5号		

令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事（建築）

図 面 目 録								
意 匠						構 造		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A-01	建築工事特記仕様書(その1)	-	A-15	展開図 1	1/50	S-01	構造標準仕様書-1	-
A-02	建築工事特記仕様書(その2)	-	A-16	展開図 2	1/50	S-02	構造標準仕様書-2	-
A-03	建築工事特記仕様書(その3)	-	A-17	展開図 3	1/50	S-03	構造標準仕様書-3	-
A-04	建築工事特記仕様書(その4)	-	A-18	建具 KEYPLAN	1/60	S-04	基礎伏図	1/50
A-05	案内図・付近見取図	-	A-19	金属製建具表	1/60	S-05	基礎断面詳細図	1/30
A-06	求積図・面積表	1/100	A-20	木製建具表	1/60	S-06	土台伏図	1/50
A-07	仕上表	-	A-21	天井伏図	1/60	S-07	小屋伏図	1/50
A-08	配置図兼1階平面図	1/100	A-22	外構図	1/100、30、10	S-08	母屋伏図	1/50
A-09	屋根伏図	1/100	A-23	外構撤去図	1/100	S-09	1階耐力壁・金物配置図	1/50
A-10	立面図	1/100	A-24	雑詳細図	1/20、30	S-10	軸組図	1/50
A-11	断面図	1/100	A-25	仮設計画図	1/100			
A-12	1階平面詳細図	1/60						
A-13	屋根平面詳細図	1/60						
A-14	断面詳細図	1/60						

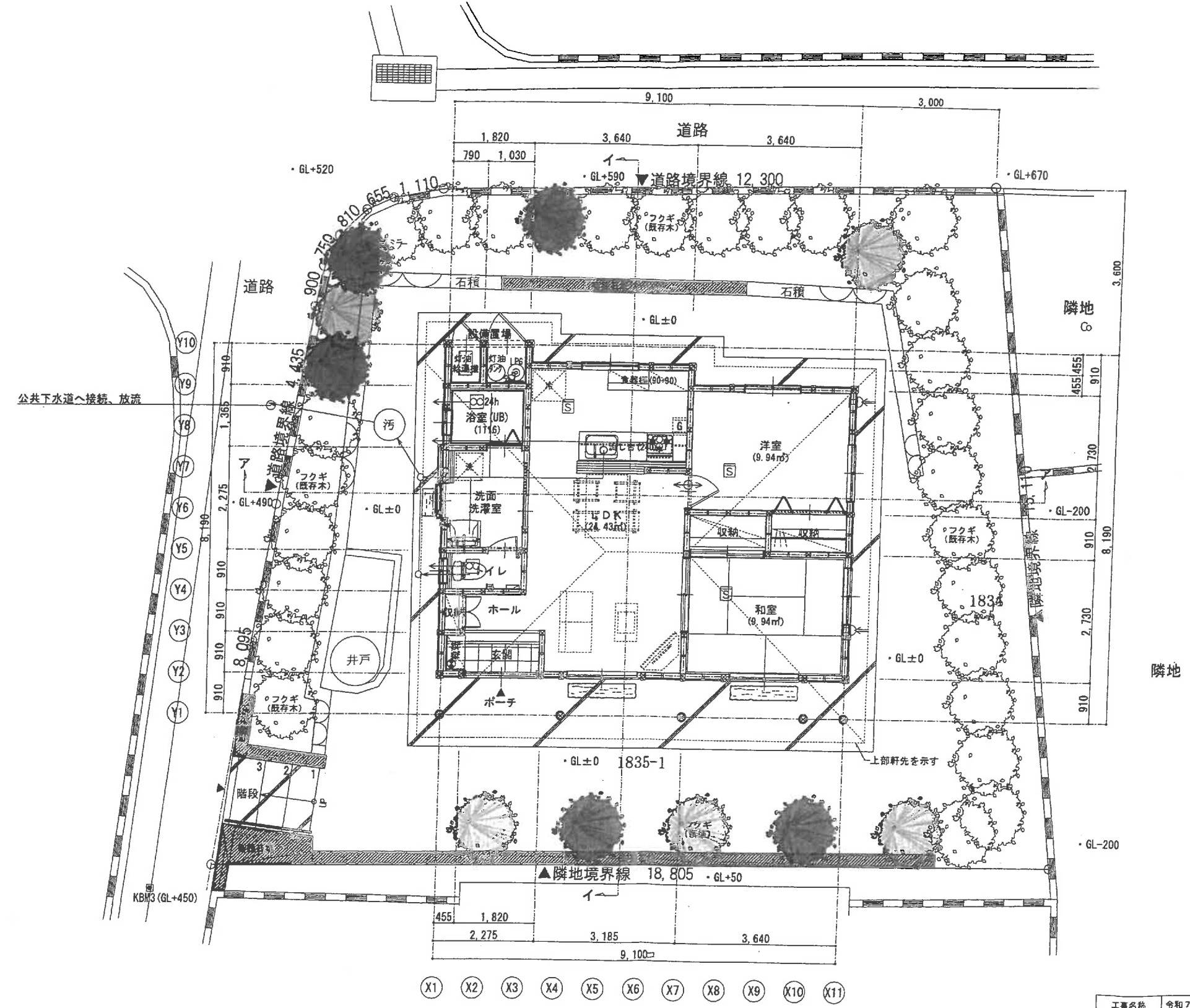
渡名喜村役場 経済課

工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	図面目録
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	
摘 要		図面番号	A-00
校 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	眞志保 博基	
	登録番号	1級建築士事務所 144-33号	
	所 在 地	1級建築士会館 (大田) 第320967号 沖縄県那覇市首里山手町3丁目61番9号	



1837

1785-1

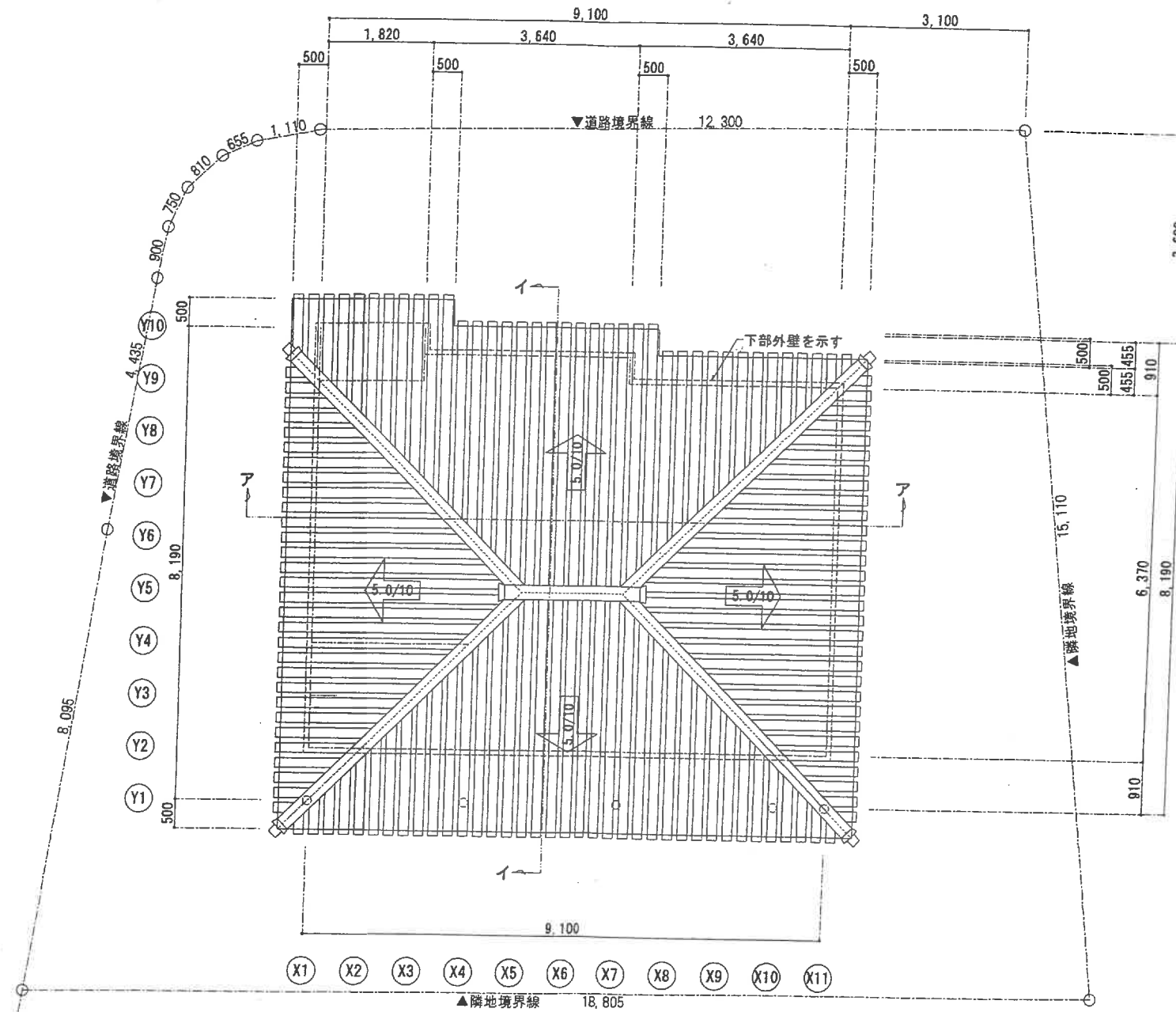


凡例	
	(24h換気) 換気扇 (第三種 全館換気型)
	換気扇 (第三種 局所換気型)
	自然 給気口
	建具下通気有り (ドア・サッシのみ) (7mm以上確保)
	住宅用消火器 4型
	火災警報器 (有感知)
	ガス感知器

配置図兼1階平面図 S=1/100

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 浪名町村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	浪名町村1835番地1	図面名称	配置図兼1階平面図
発注機関	浪名町村 経済課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A-08
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	責任者氏名	眞志保 博基	
	登録番号	1級建築士事務所 144-33号	
所在地	兵庫県明石市若菜山町3丁目61番9号		

採光チェック表【法28、令19～20】※水平距離：配置図を参照（最も厳しい部分）※垂直距離：断面図を参照（最も厳しい部分）※採光補正係数：（水平距離÷垂直距離×10-1）																		換気チェック表【法22、令20の2～3】					
棟	室名	床面積	割合	建具名	W	H	数量	縁側	天窓	道路	水平距離	垂直距離	採光補正係数	開口率	採光有効面積	採光有効面積合計	判定	必要採光面積	割合	有効窓面積	有効窓面積合計	判定	必要採光面積
A	LDK	24.43	1/7	2 AW	1.20	0.50	1	無	無	有	5.39	1.27	3.00	1.0	1.80	10.80	>	3.42	1/20	0.30	1.80	>	1.22
				1 AE	1.50	2.00	1	無	無	無	3.01	1.74	3.00	1.0	9.00					1.50			
	洋室	9.94	1/7	1 AW	1.20	1.00	1	無	無	有	5.92	1.27	3.00	1.0	7.20	7.20	>	1.39	1/20	1.20	1.20	>	0.50
							1 AE	1.20	1.00	1	無	無	無	3.03	1.27					3.00			
	和室	9.94	1/7	1 AW	1.20	1.00	1	無	無	無	3.34	1.27	3.00	1.0	3.60	12.60	>	1.39	1/20	0.60	2.10	>	0.50
							1 AE	1.50	2.00	1	無	無	無	3.01	1.74					3.00			

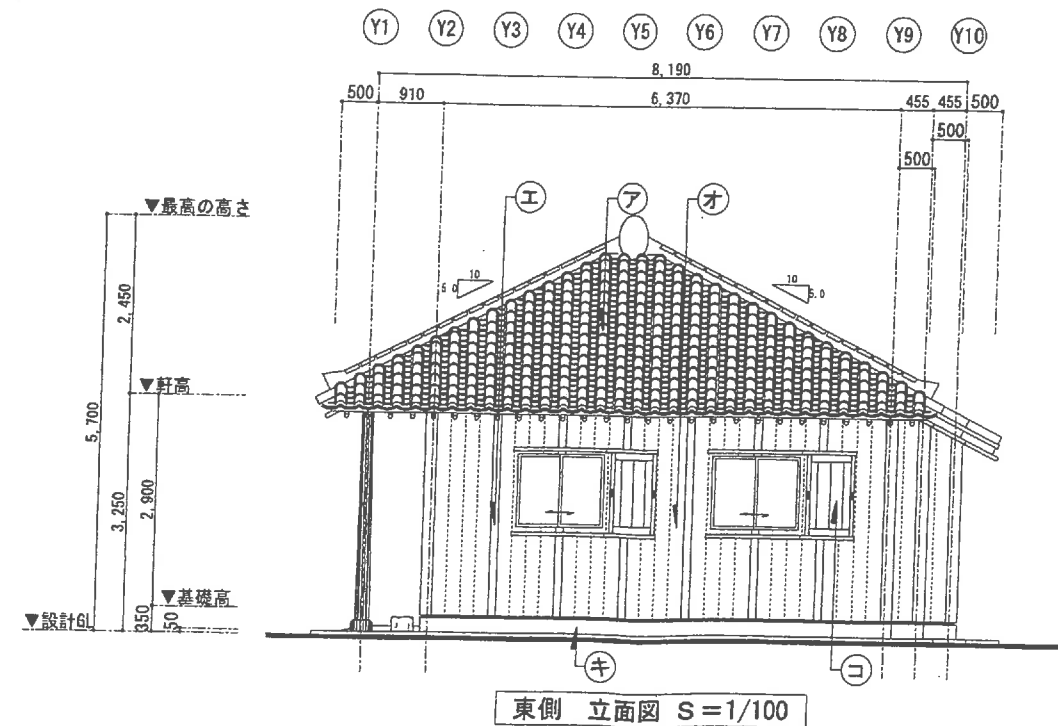
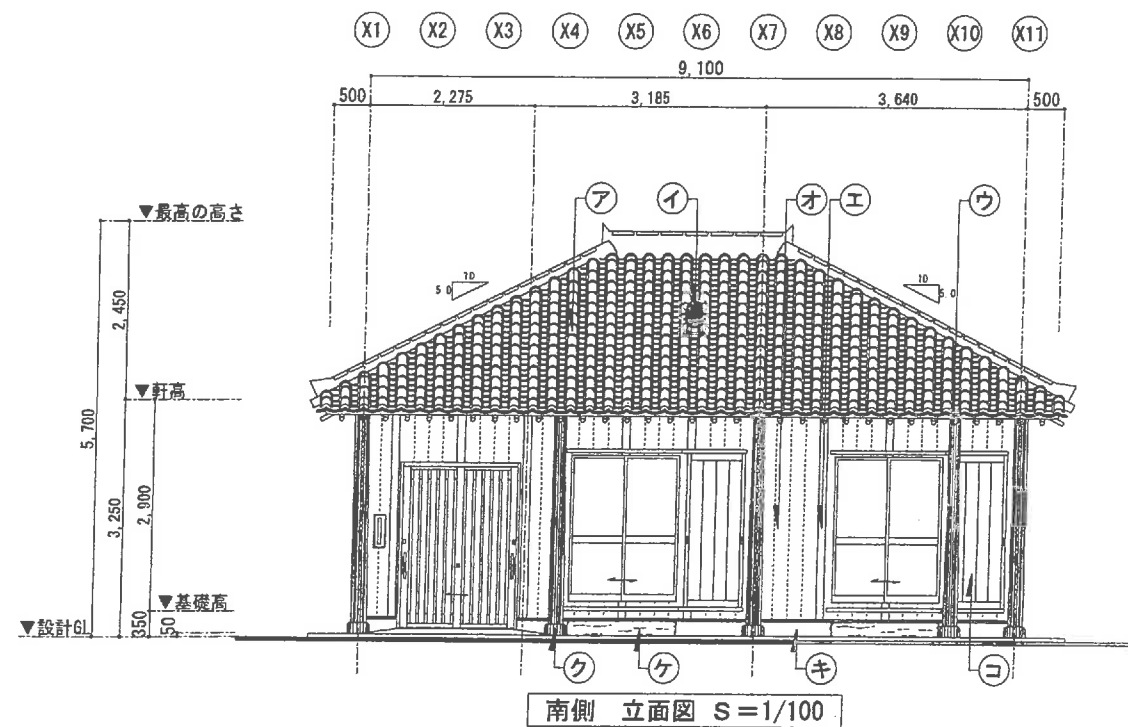
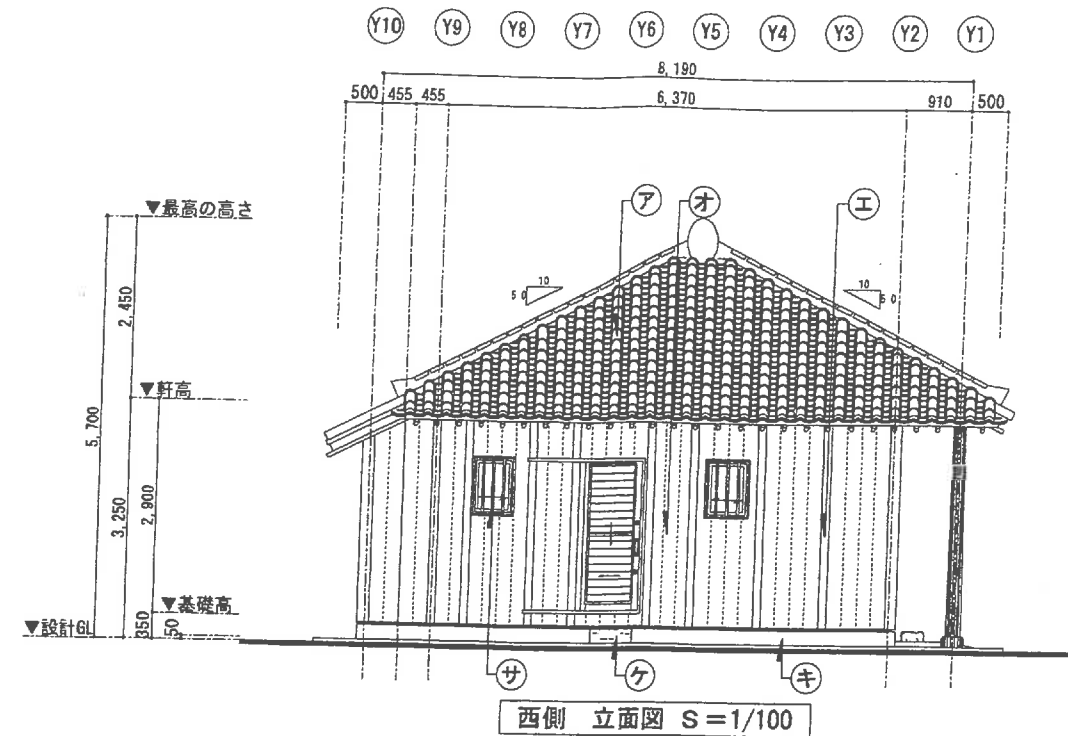
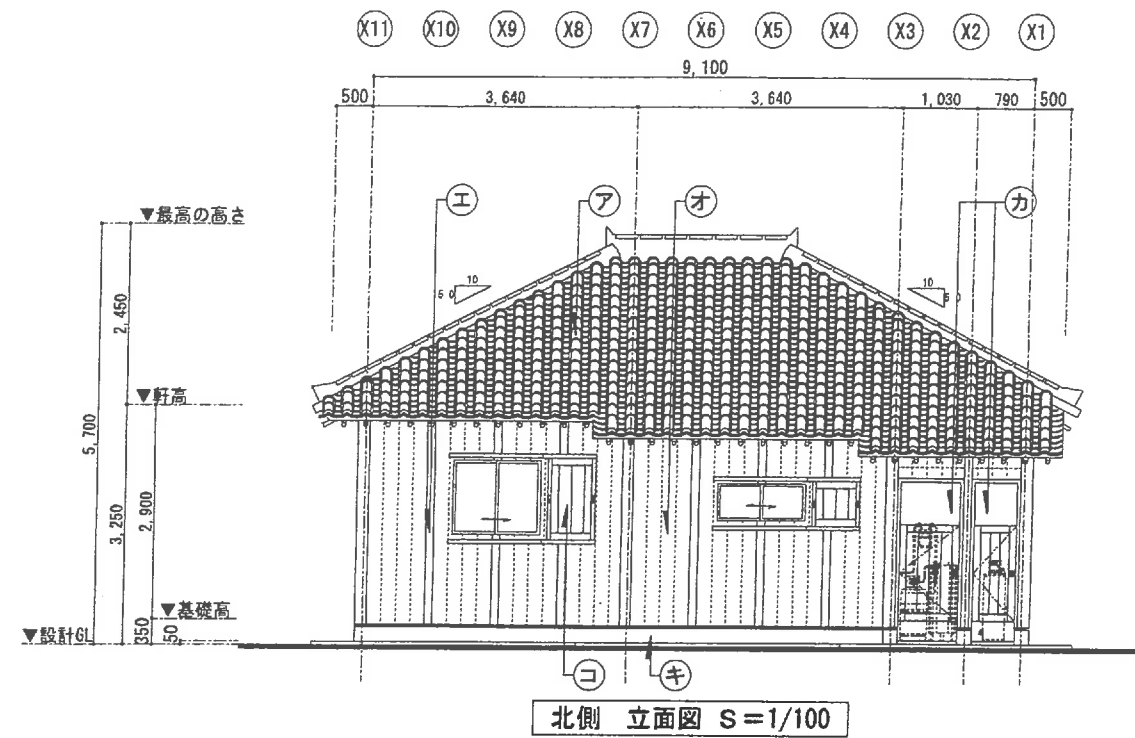


屋根伏図 S=1/100

■瓦特記事項

- ①瓦の型は、可能な限り渡名喜島で多く使用されている瓦を使用すること。
- ②葺き方は、渡名喜島の伝統的葺き方かつ空葺きとし、屋根正面から順次行うこと。
- ③雌瓦の重ね部は、隙間を空けないこと。（作業後確認の隙間は、漆喰を詰めること。）
- ④雌瓦の突き合わせ部は、程よく空けること。
- ⑤瓦サイズは、瓦工場により違いがあるので、あらかじめ監督員と協議のうえ決定すること。
- ⑥ルーフィング張りの上端部は、シール材充填とすること。
- ⑦瓦を葺く際は、一気に葺くこと。
- ⑧瓦は、強度確認を行うこと。
- ⑨野地竹は、肉厚が薄いものが良品とされているので、選定には注意を払うこと。
- ⑩漆喰塗は、漏水（雨漏り）がないことを確認したうえで、中塗り、上塗りを進めること。
- ⑪瓦葺きの際、現場責任者は常に現場にて指導監督を行うこと。（責任施工）
- ⑫軒先四隅は伝統的な扇垂木とする。

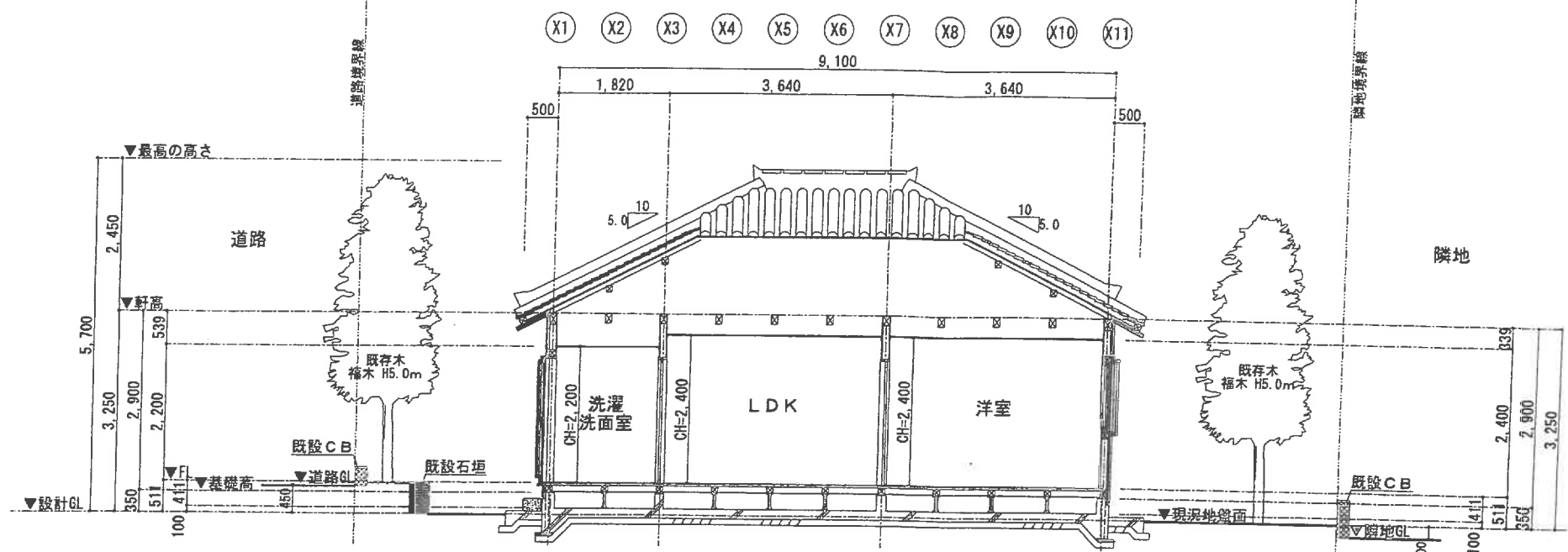
工事名称				Aタイプ	
令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事				令和7年度	
工事場所 渡名喜村1835番地1				屋根伏図	
発注機関 渡名喜村 経済課				縮尺 S=1:100	
摘要				図面番号 A-09	
検印	管理建築士	設計	製図	名称 株式会社 宮平設計	
				資格者氏名 眞志保 博基	
				登録番号 1級建築士 第144-33号	
				所在地 沖縄県那覇市首里山崎3丁目61番9号	



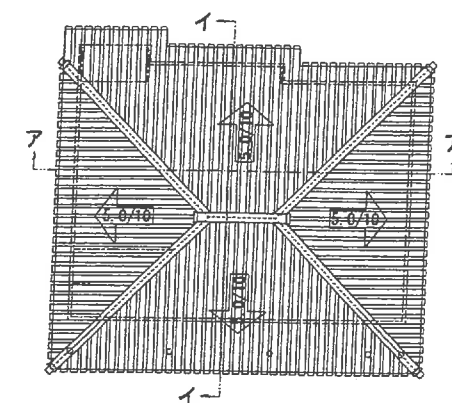
■仕上凡例

ア	屋根	沖縄在来瓦葺き (漆喰塗り)	エ	化粧柱	杉材WP	キ	基礎立上	コンクリート打放し補修 薄付モルタル塗り仕上	コ	雨戸	杉材WP	備考
イ	装飾	シーサー取付 (現場造り付 換気無し)	オ	外壁1	t15杉板縦張りWP	ク	束石	φ250~300 自然石 (支給品・要加工)	サ	格子	アルミ面格子(縦)	※外壁塗装色は、監督員と協議の上 決定とする。 ※外部に取付ける設備機器は、床及び 壁に緊結に固定を行う。
ウ	雨端柱	φ150~200イヌマキ根付 (ヒノキ同等品)WP	カ	外壁2	t10竹イ加板目透し張りEP	ケ	踏石	コンクリート打設 4面 ビシャン仕上				

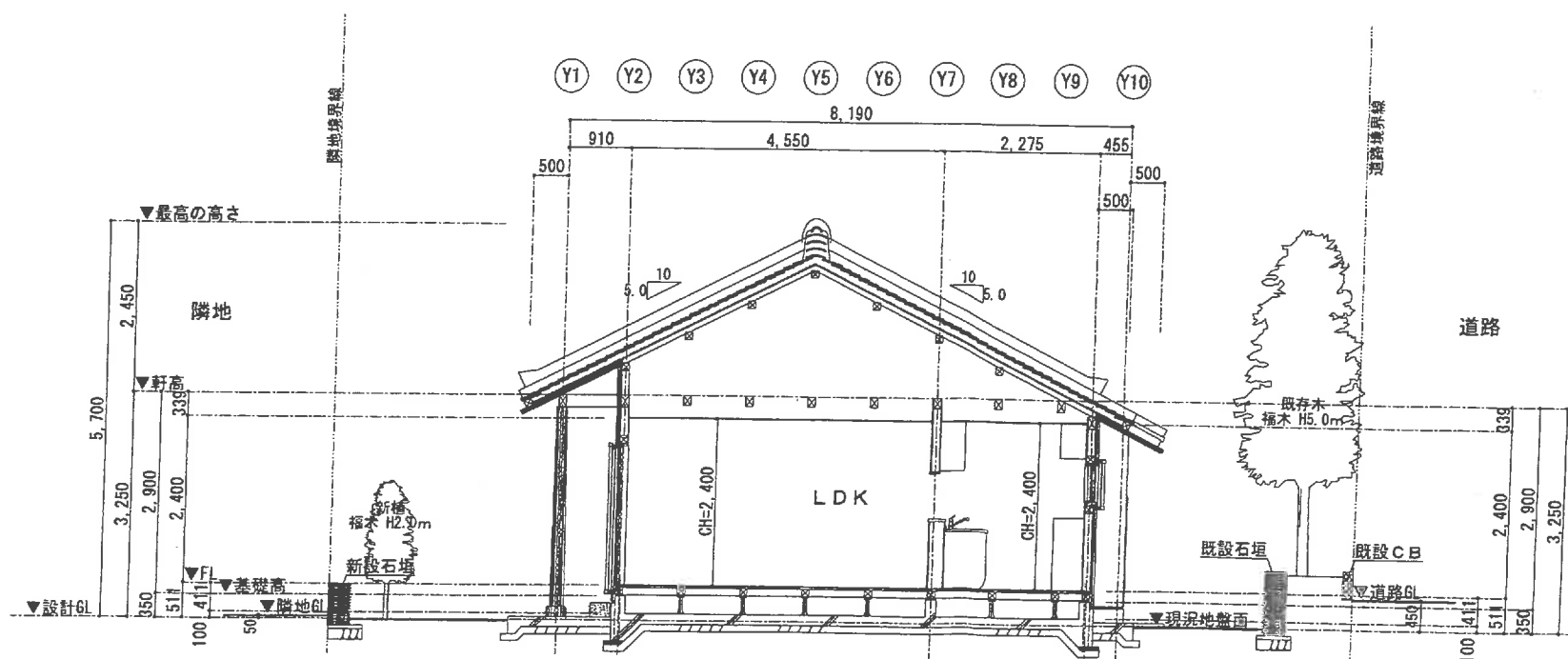
Aタイプ			
工事名称	令和7年度 波名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	波名喜村7835番地1	図面名称	立面図
発注機関	波名喜村 経済課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A-10
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 富平設計	
	資格者氏名	眞志保 博基	
	登録番号	7級建築士登録番号144-33号 1級建築士登録(大臣)第320997号	
	所在地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号	



ア 断面図 S=1/100

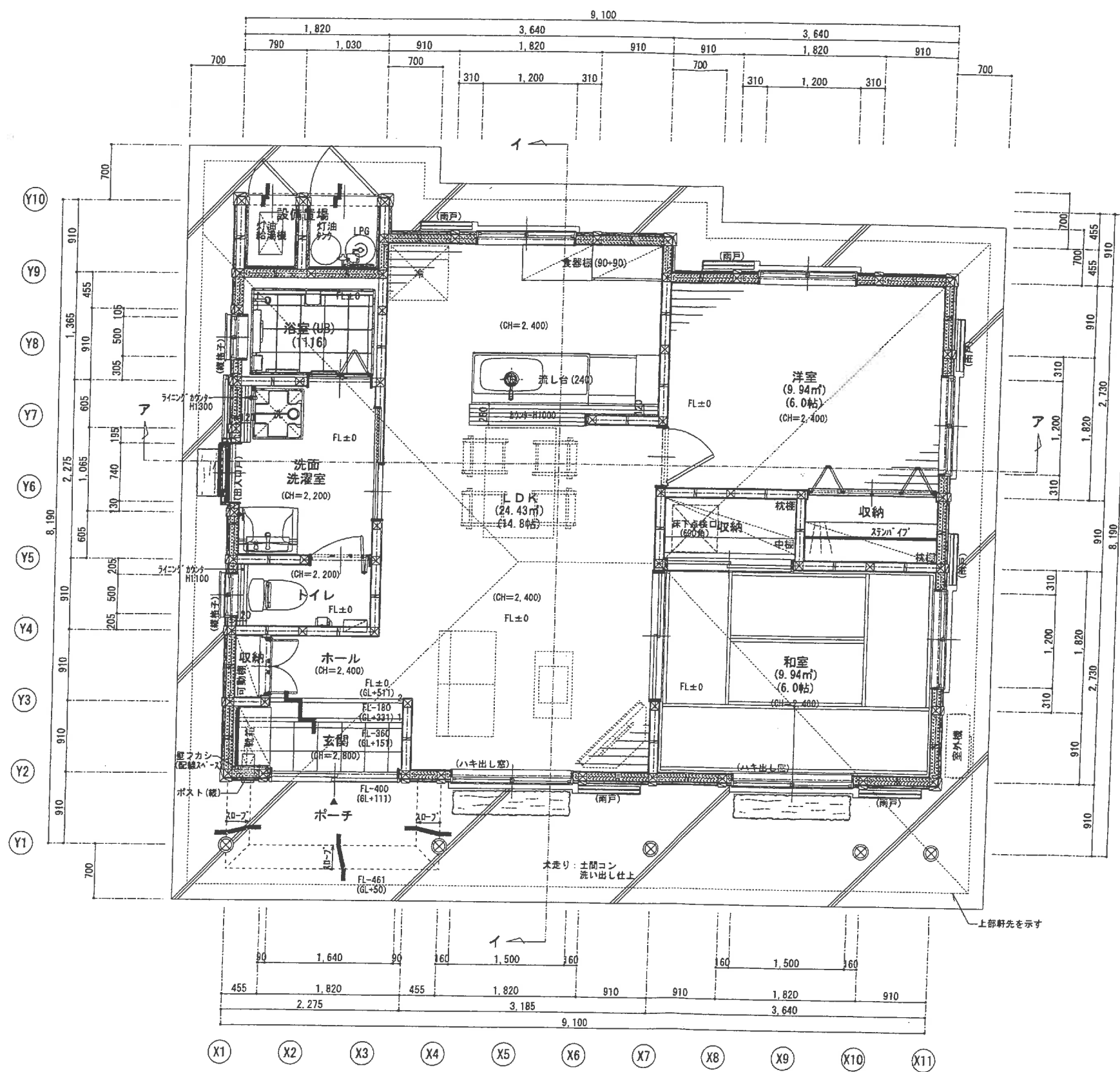


断面 KEYPLAN



イ 断面図 S=1/100

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	断面図
免注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A-11
検印	管理建築士	設計	名 称 株式会社 宮平設計
		製図	資格者氏名 廣志保 博基
			登録番号 1級建築士 登録番号 144-333号
			所在地 1級建築士 登録番号 (大庄) 第320997号

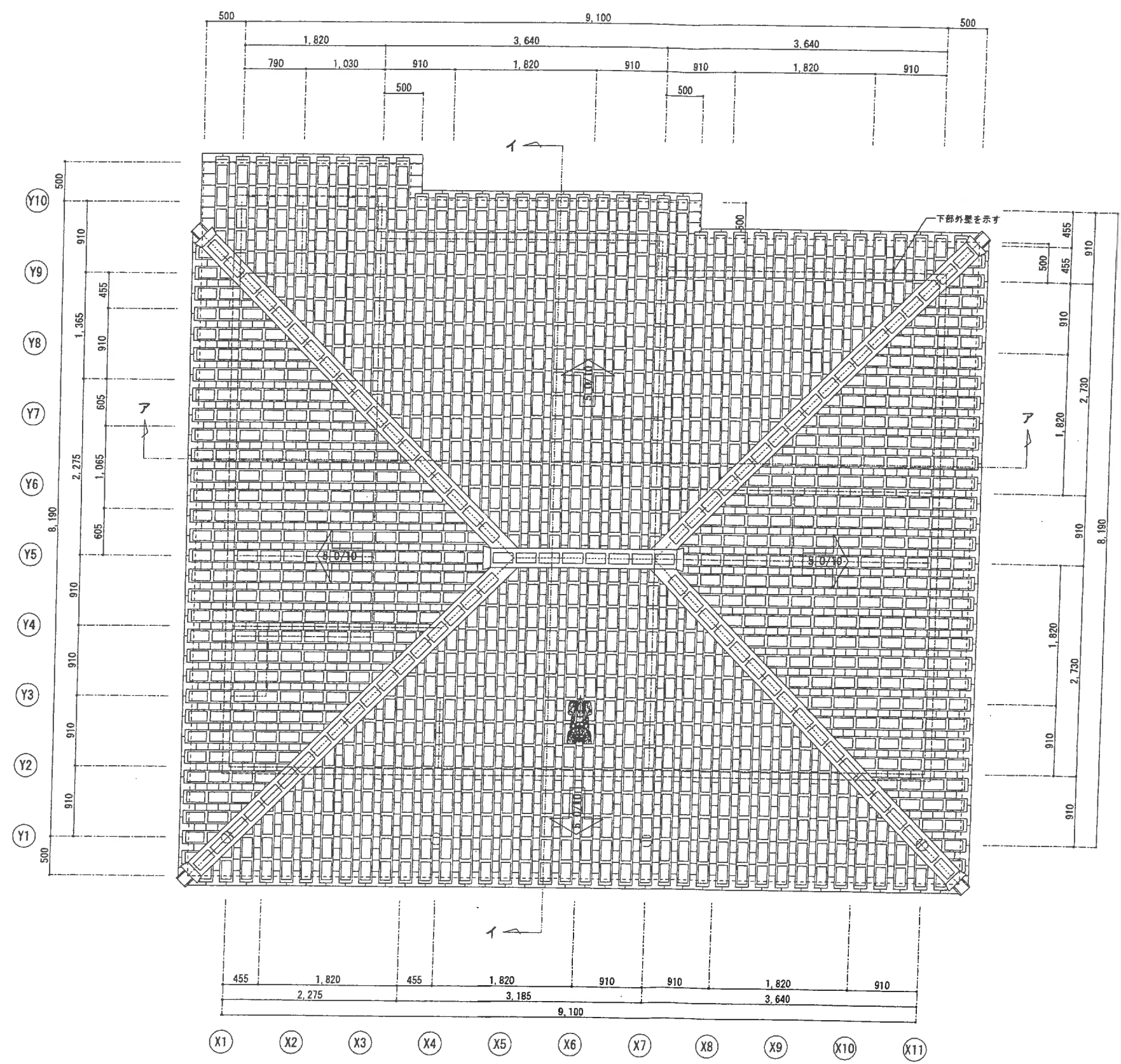


■火気使用室の換気計算【法28】
V=有効換気量
K=理論廃ガス量(LPガス) = 0.93 m3/kWh
Q=燃料消費量 = 11.89 kW・kg/時
レンジフード換気風量(強) = 565 m3/h
 $V=30KQ=30 \times 0.93 \times 11.89 = 331.73 \text{ m3/h}$
 $565 \text{ m3/h} > 331.73 \text{ m3/h} \therefore \text{OK}$

■: 外壁断熱材充填位置を示す。

1階平面詳細図 S=1/60

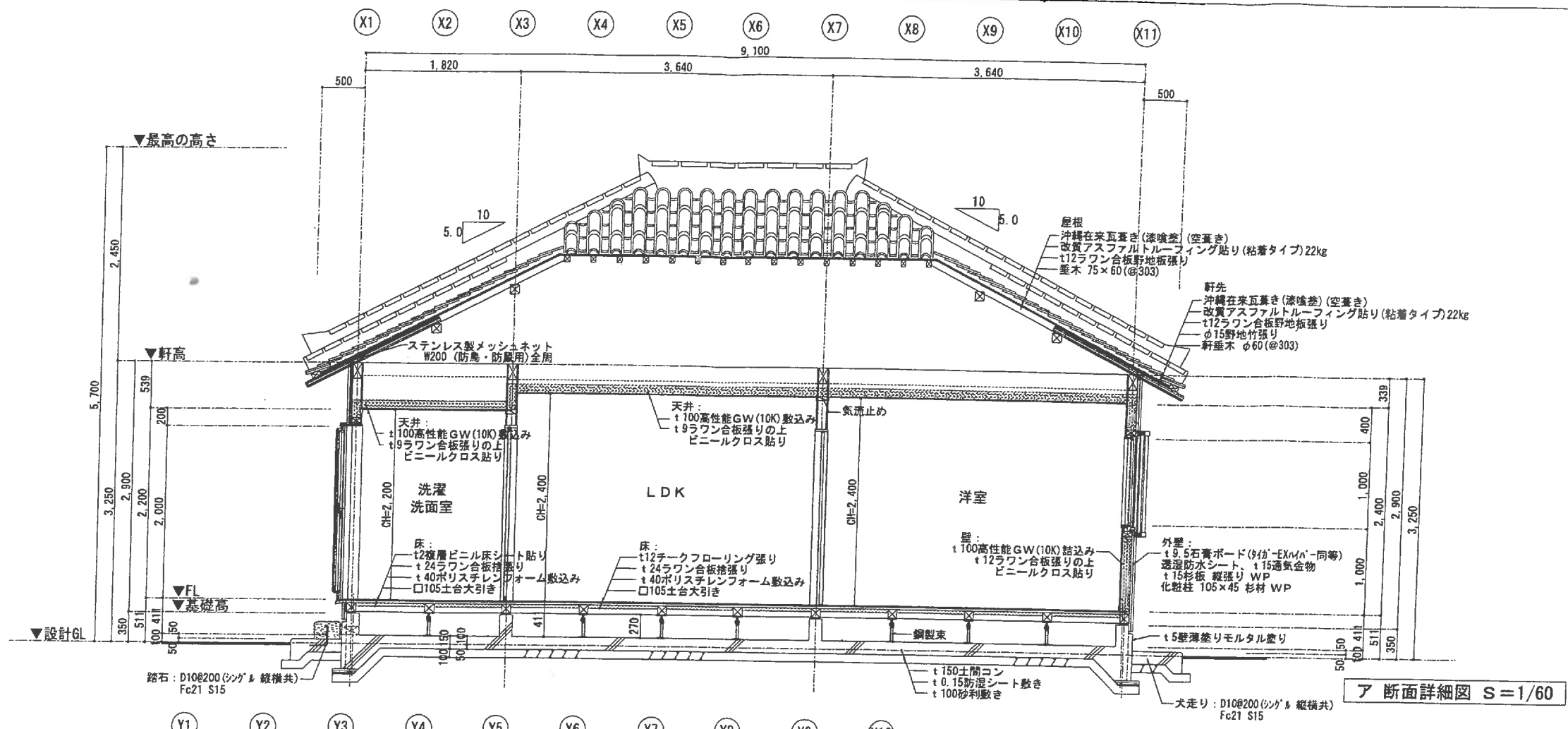
Aタイプ			
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	1階平面詳細図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	S=1/60
摘要		図面番号	A-12
検印	管理建築士	設計	名 称 株式会社 富平設計
		監 査	資格者氏名 廣志保 博基
		図 章	登録番号 1級建築士事務所 144-33号
			所在地 1級建築士事務所 (大田) 東京都大田区 1-4-33号



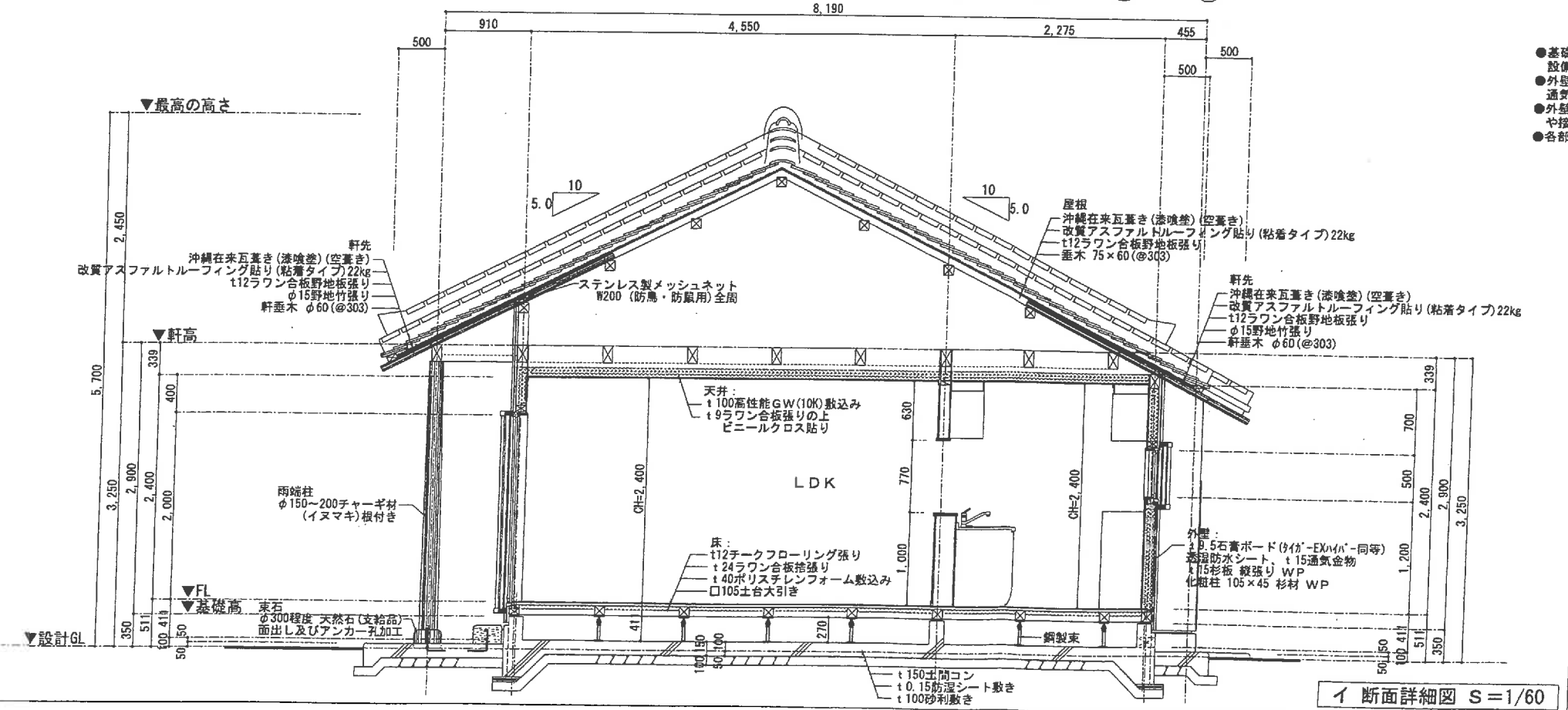
- 瓦特記事項
- ①瓦の型は、可能な限り波名喜島で多く使用されている瓦を使用すること。
 - ②葺き方は、波名喜島の伝統的葺き方かつ空葺きとし、屋根正面から順次行うこと。
 - ③雌瓦の重ね部は、隙間を空けないこと。（作業後確認の隙間は、漆喰を詰めること。）
 - ④雌瓦の突き合わせ部は、程よく空けること。
 - ⑤瓦サイズは、瓦工場により違いがあるので、あらかじめ監督員と協議のうえ決定すること。
 - ⑥ルーフィング張りの上端部は、シール材充填とすること。
 - ⑦瓦を葺く際は、一気に葺くこと。
 - ⑧瓦は、強度確認を行うこと。
 - ⑨野地竹は、肉厚が薄いものが良品とされているので、選定には注意を払うこと。
 - ⑩漆喰塗は、漏水（雨漏り）がないことを確認したうえで、中塗り、上塗りを進めること。
 - ⑪瓦葺きの際、現場責任者は常に現場にて指導監督を行うこと。（責任施工）
 - ⑫軒先四隅は伝統的な扇垂木とする。
 - ⑬漆喰シーサー取付。

屋根平面詳細図 S=1/60

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 波名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	波名喜村1835番地1	図面名称	屋根平面詳細図
発注機関	波名喜村 経済課	縮尺	S=1/60
摘要	図面番号		
	A-13		
	名称		
	株式会社 宮平設計		
	資格者氏名		
校印	廣志保 博基		
	登録番号		
	1級建築士事務所 144-333号 1級建築士事務所 (大正) 第320997号		
所在地		沖縄県那覇市波名喜山1町3丁目61番5号	

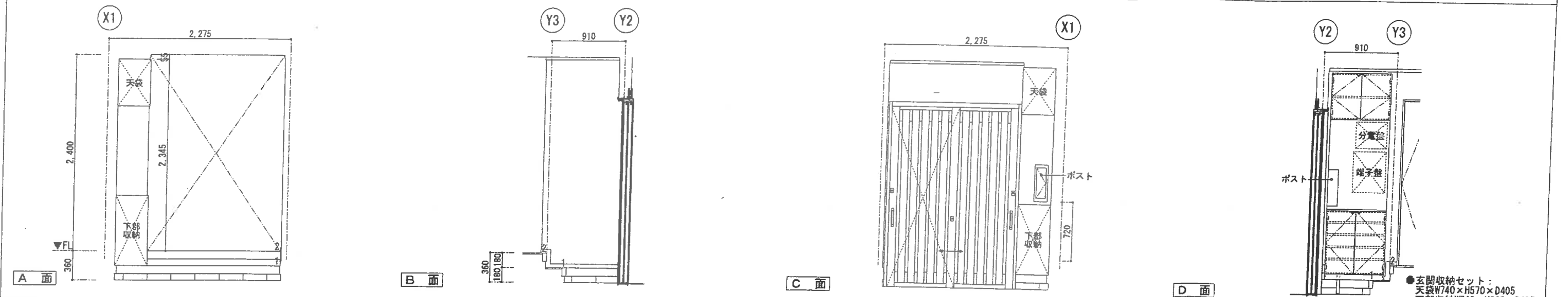


- 基礎立上り部分に適宜φ100水抜き孔(SUS製付)を設け、工事中の雨水排水や漏水時水抜き、設備メンテナンスとしても使用できるようにすること。
- 外壁は通気工法となるため、通気金物を使用すること。やむを得ず下地鋼線を設ける場合は、通気の妨げとならないよう通り道を確保するなど係員と調整を行うこと。
- 外壁の見え掛り部分にクギやビスなどを施工する場合は、極力目立たないようダブりめや接着剤等の処理を行うこと。
- 各部断熱材は隙間なく充填し、気流の流れを遮断し、ヒートブリッジとなる経路を作らない事。

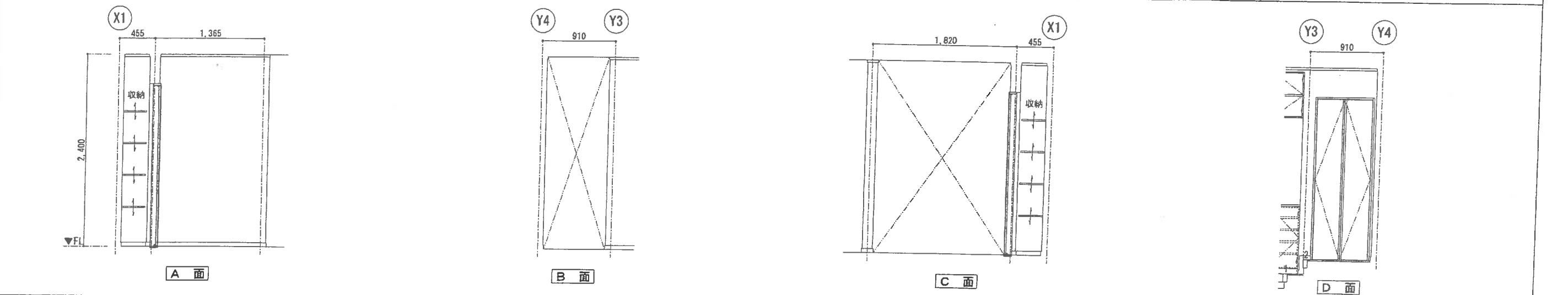


Aタイプ			
工事名称	令和7年度 彦名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	彦名喜村1835番地1	図面名称	断面詳細図
発注機関	彦名喜村 経済課	縮 尺	S=1/60
摘 要	図面番号 A-14		
検 印	管理課長	設 計	製 図
	名 称	株 式 会 社	宮 平 設 計
	資格者氏名	眞 志 保 博 基	
	登録番号	1級建築士事務所 144-333号	
所 在 地	1級建築士事務所 (大正) 東320597号		
	外観部 彦名喜村1835番地1 3丁B61番6号		

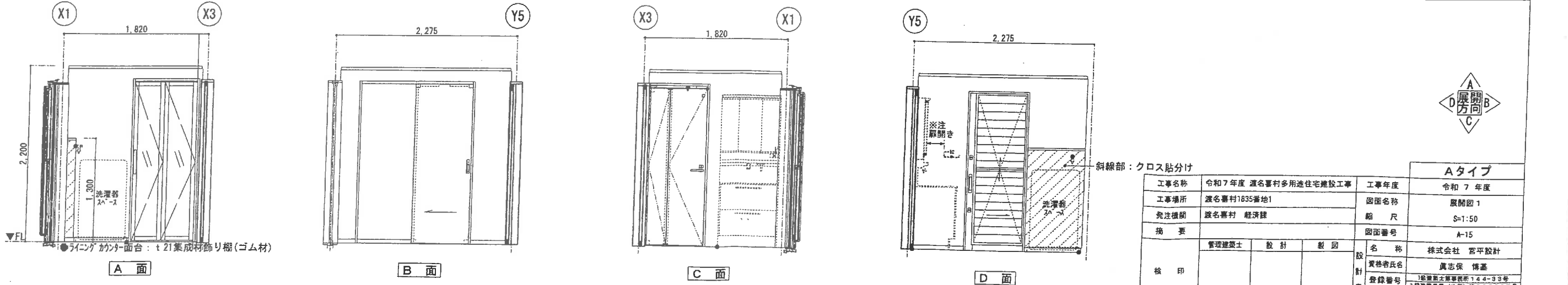
室名	天井高	下地	床	巾 木	下地	壁	廻り縁	下地	天 井	備 考
玄関	2,760	C	300角磁器質タイル貼り (立上り含む)	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	上り框(付框):50×100 チーク材OS・CL塗(鐵込有り) 玄関収納(天袋、下部収納)



室名	天井高	下地	床	巾 木	下地	壁	廻り縁	下地	天 井	備 考
ホール	2,400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15チークフローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	収納: t 15×300 シナ合板ランバーコア(既塗装品 4枚) ステンレス製棚柱、棚受

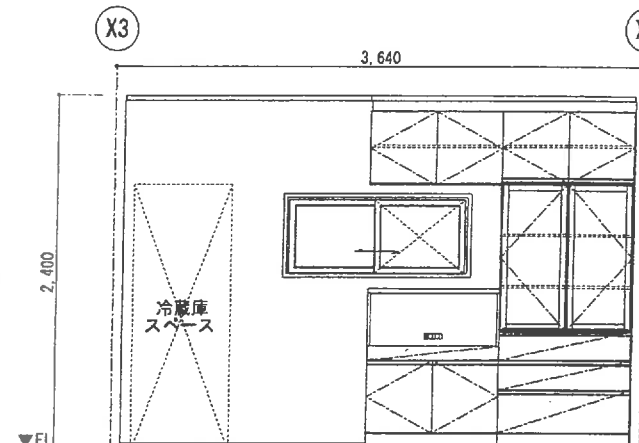


室名	天井高	下地	床	巾 木	下地	壁	廻り縁	下地	天 井	備 考
洗面洗濯室	2,200	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 2複層ビニル床シート貼り	7×56.5(気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	t 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	ライン'カウンター面台: t 21集成材飾り棚(ゴム材) 洗面台・洗濯機パン・タオル掛け(設備工事)



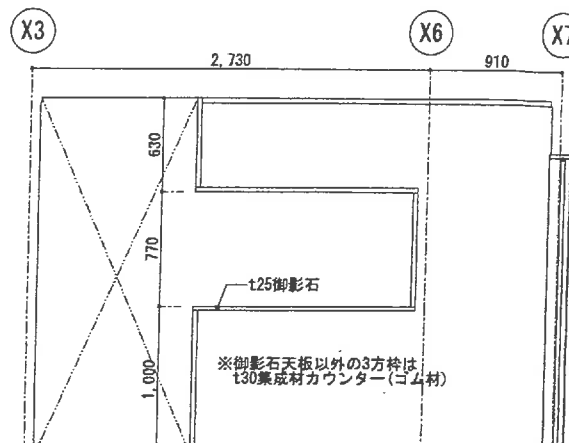
Aタイプ			
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	展開図1
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	S=1:50
摘 要	図面番号 A-15		
検 印	管理建築士	設 計	製 図
	名 称	株式会社 富平設計	
	資格者氏名	真志保 博基	
	登録番号	1級建築士事務所 144-33号 1級建築士 (大庄) 第320997号	
所 在 地		沖縄県那覇市宮里山(同3丁目)番5号	

室名	天井高	下地	床	巾 木	下地	壁	廻り縁	下地	天 井	備 考
L D K	2.400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15チークフローリング (塗装品) 張り	7×56.5 (気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5 (気密タイプ)	W	t 100断熱材 (高性能 GW10kg/m3) 敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	流し台+ガス台 (L=2,400 SUS天板)、レンジフード+吊戸棚 (L=2,400) カッポード (コの字)、カウンター面台: t25御影石、集成材カウンター カーテンレールW

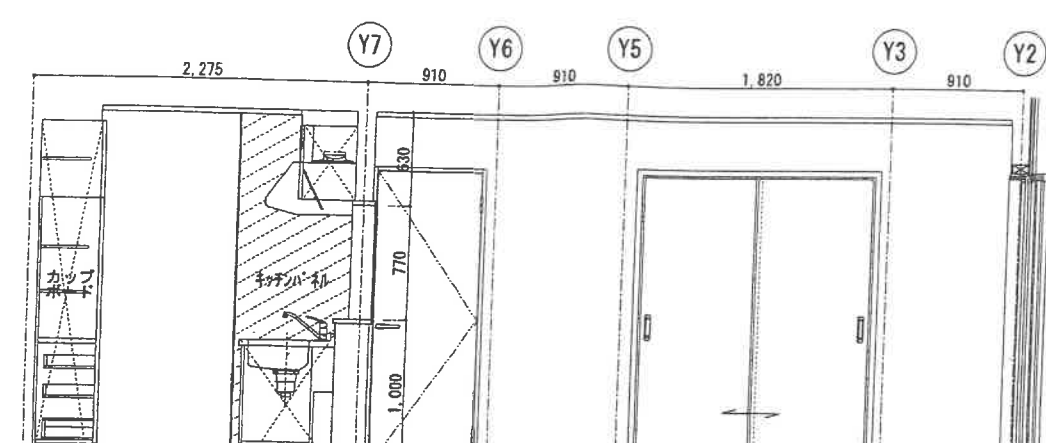


●カッポードセット: W900 家電収納キャビネット:開き扉+家電収納スペース
W900 H2300 トーレスキャビネット:3段スライド扉+開き扉

A 面

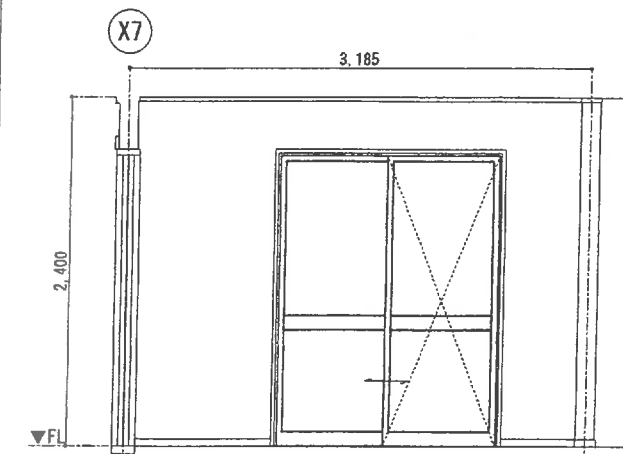


A' 面

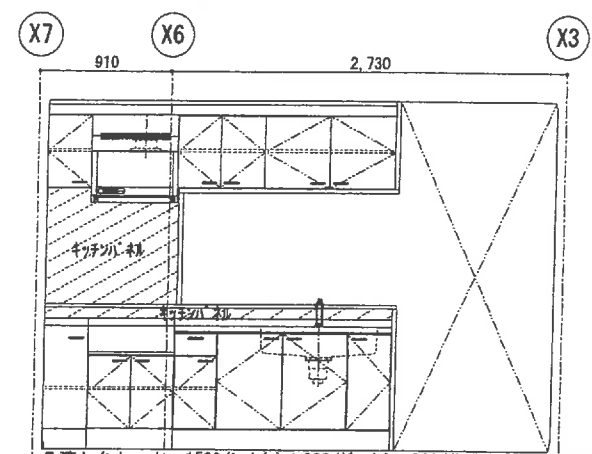


B 面

室名	天井高	下地	床	巾 木	下地	壁	廻り縁	下地	天 井	備 考
L D K	2.400	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 15チークフローリング (塗装品) 張り	7×56.5 (気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5 (気密タイプ)	W	t 100断熱材 (高性能 GW10kg/m3) 敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	流し台+ガス台 (L=2,400 SUS天板)、レンジフード+吊戸棚 (L=2,400) カッポード (コの字)、カウンター面台: t25御影石、集成材カウンター カーテンレールW

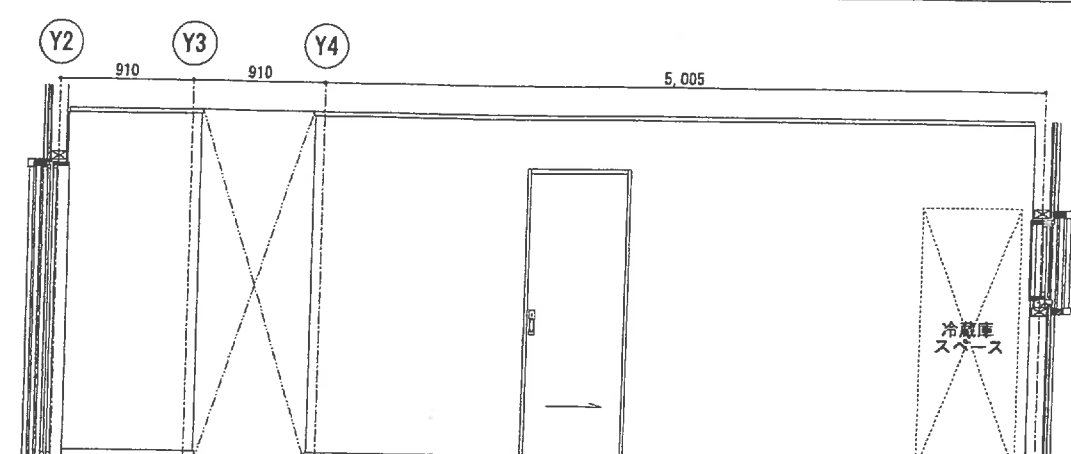


C 面



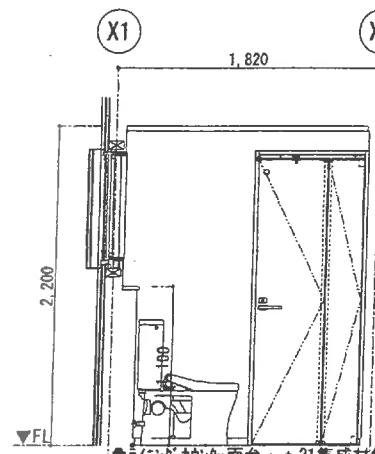
●流し台セット: 1500 (シンク台)+600 (ガス台)+300 (作業台) ステンレス天板、混合水栓
1500+300 (吊戸棚 H500)+600 (レンジフード)、キッチン棚

C' 面

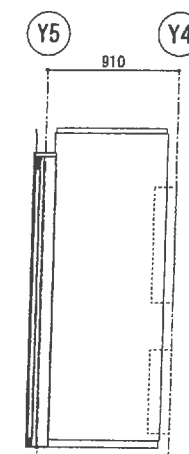


D 面

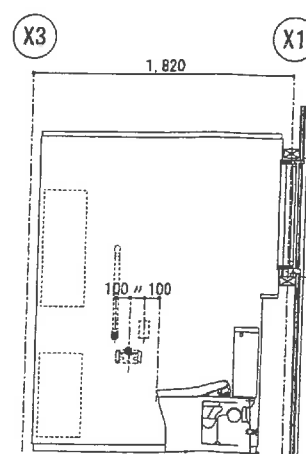
室名	天井高	下地	床	巾 木	下地	壁	廻り縁	下地	天 井	備 考
トイレ	2.200	W	t 24ラワン合板捨張り下地 t 2複層ビニル床シート貼り	7×56.5 (気密タイプ)	W	t 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5 (気密タイプ)	W	t 100断熱材 (高性能 GW10kg/m3) 敷きの上 t 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	便器・ウォールキャビネット・フロアキャビネット・紙巻器 (設備工事) ライニングカウンター面台: t 21集成材飾り棚 (ゴム材)



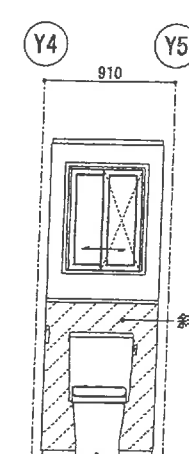
A 面



B 面



C 面



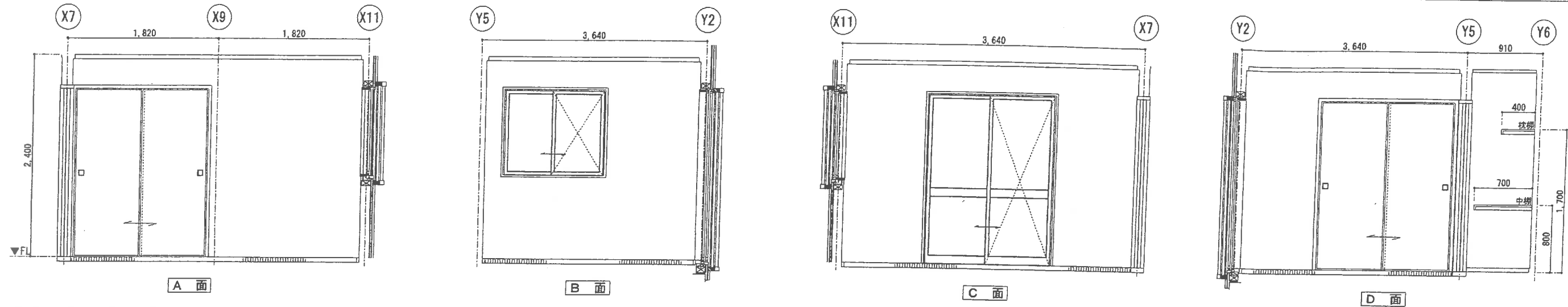
D 面

斜線部: クロス貼分け

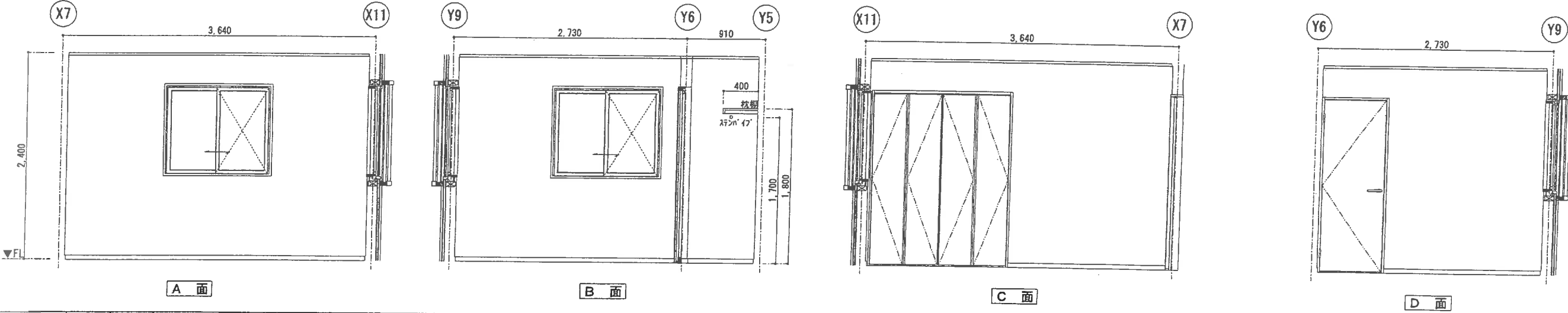


Aタイプ			
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	展開図2
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	S=1:50
備 考		図面番号	A-16
校 印	管理建築士	設 計	名 称 株式会社 宮平設計
		製 図	設計者氏名 廣志保 博基
			登録番号 1級建築士事務所 144-33号
			1級建築士 (大抵) 第320987号
			所在地 沖縄県那覇市首里山崎3丁目61番9号

室名	天井高	下地	床	巾 木	下地	壁	廻り縁	下地	天 井	備 考
和室	2,400	W	↑ 24ラワン合板捨張り下地 ↑ 55畳敷き	畳寄 30×55(杉材) OS・CL塗	W	↑ 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	25×45(杉材) OS・CL塗	W	↑ 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 ↑ 9シナ合板(塗装品)目透し張り	カーテンレールW

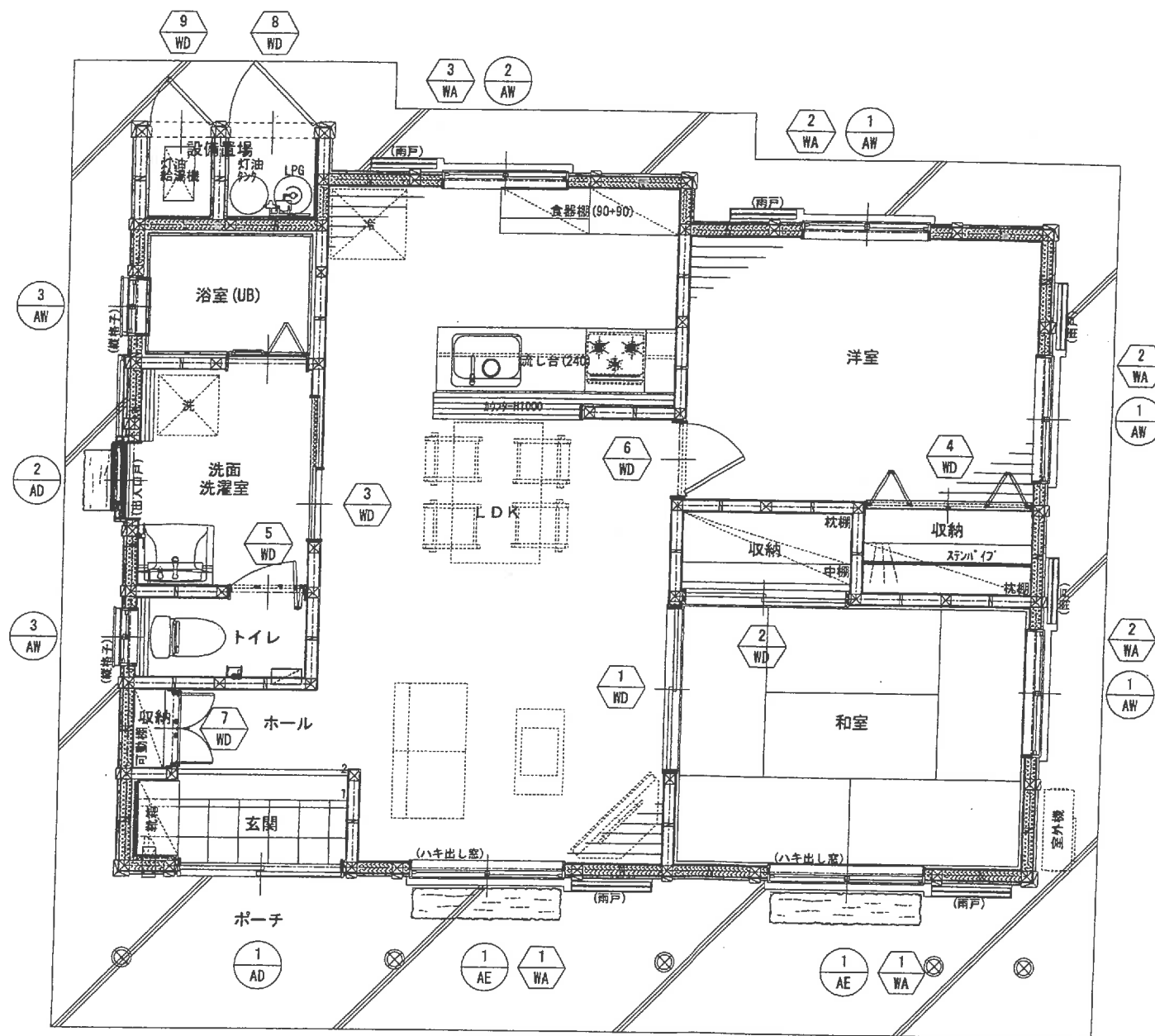


室名	天井高	下地	床	巾 木	下地	壁	廻り縁	下地	天 井	備 考
洋室	2,400	W	↑ 24ラワン合板捨張り下地 ↑ 15チークフローリング(塗装品)張り	7×56.5(気密タイプ)	W	↑ 12ラワン合板下地 ビニールクロス貼り	7×36.5(気密タイプ)	W	↑ 100断熱材(高性能GW10kg/m3)敷きの上 ↑ 9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り	カーテンレールW





Aタイプ			
工事名称	令和7年度 彦名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	彦名喜村1835番地1	図面名称	展開図3
発注機関	彦名喜村 経済課	縮 尺	S=1:50
摘 要		図面番号	A-17
検 印	管理建築士	設 計	株式会社 宮平設計
		製 図	資格者氏名 廣志保 博基
			登録番号 1級建築士 第1442-23号
			1級建築士 第320997号
		所 在 地	沖縄県那覇市銘座山1丁目3番61号9号



【凡例】

1
AD : 金属製建具を示す。

1
WD : 木製建具を示す。

建具 KEYPLAN S=1/60

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	建具 KEYPLAN
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	S=1:60
摘 要	図面番号 A-18		
検 印	管理建築士	設 計	名 称 株式会社 宮平設計
		製 図	資格者氏名 廣志保 博基
			登録番号 1級建築士事務所 144-33号
			所在地 千葉県市川市山崎37番1号

金属製建具表 S=1:60

符号・位置・数量	1 AD 玄関 1ヶ所	2 AD 洗面洗濯室 1ヶ所 ※引込方向は図面参照	1 AE LDK・和室 2ヶ所
図			
名 称	アルミ製玄関引違戸 玄関引戸 JS 2枚建 16P型 (リクシル) 又は同等品	アルミ製採風勝手口片引戸 ガゼリアN エア・スライド 横格子 (リクシル) 又は同等品	アルミ製引違いハキダシ窓
仕上・見込	木目調(BG) 製品仕様による 見込: 製品仕様による	ダークグレー(H) 製品仕様による 見込: 製品仕様による	アルマイト処理 (ブロンズ) 見込: 70
ガラス	LOW-eペアガラス (遮蔽) (5mmフロート + A12 + 4mm型板)	LOW-eペアガラス (遮蔽) (5mmフロート + A12 + 4mm型板)	LOW-eペアガラス (遮蔽) (5mmフロート + A12 + 3mmフロート)
額 縁	窓枠20×45 (システム造作部材)	窓枠20×140 (システム造作部材)	窓枠20×95 (システム造作部材)
金 物	シリンダー、サムターン 引手ハンドル (室内外共) ラッチ付 製品仕様による	シリンダー、サムターン、上げ下げ固定ロック 引手ハンドル (室内外共) ラッチ付 製品仕様による	ロック付きクレセント、アルミ水切り 付属金物一式
備 考	下枠ステンレス、網戸 (中核付き) 付属金物一式	下枠ステンレス、網付、付属金物一式	可動式網戸、カーテンレール (ダブル)

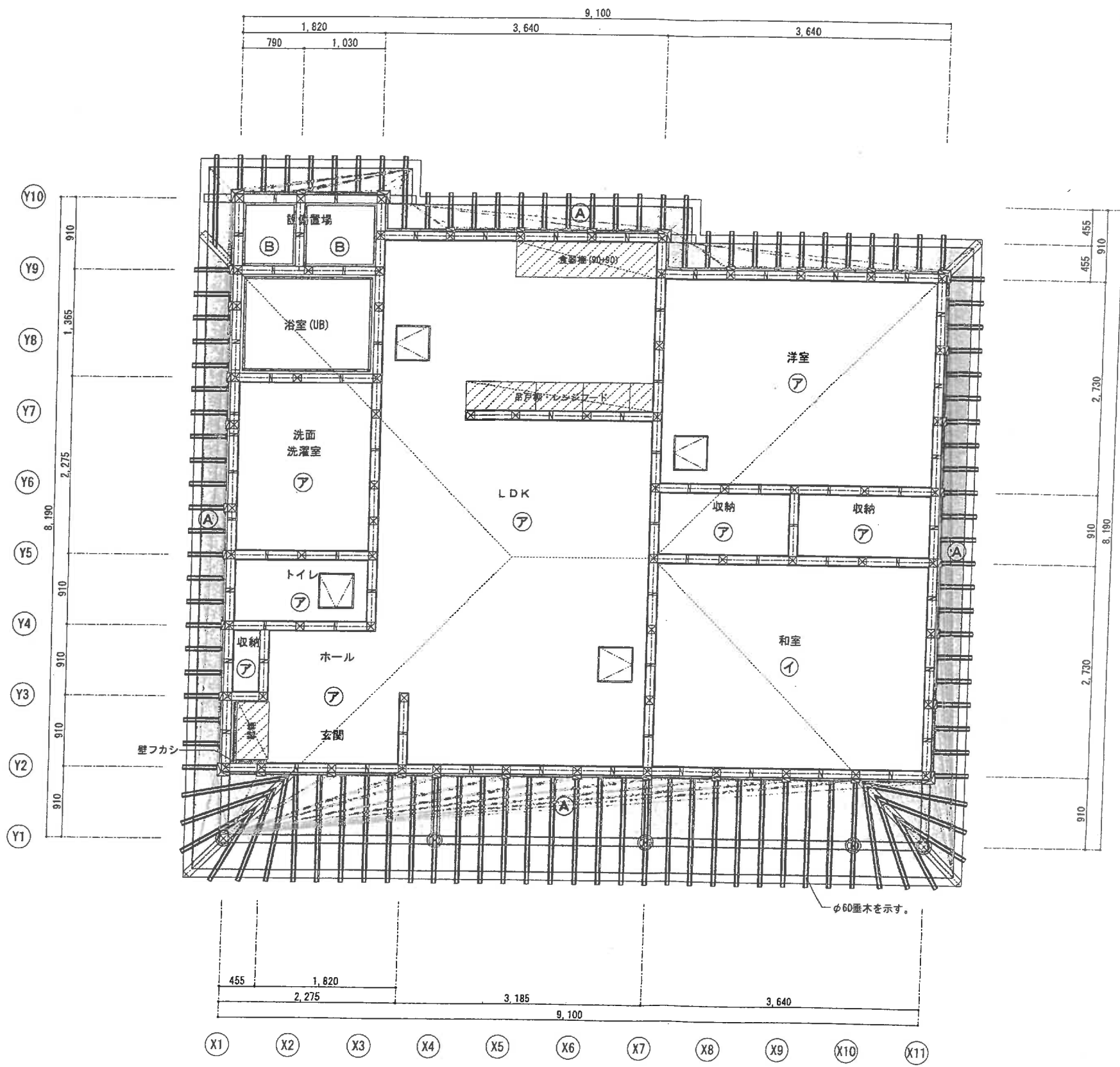
【特記事項】

1. 図示▽F Lは、各室床を基準とする。
2. 玄関戸、勝手口戸は規格寸法、その他は建具枠内寸法とする。
3. 建具製作前に施工図を作成し、係員の承諾を得る。
4. 額縁等のサイズは、サッシ納まり確認の上、適宜納める事。
5. 建具使用金物は事前にサンプル等を提出し、係員の承諾を得る。
6. 建具の現場取付けは、係員立ち会いの元に施工する。
7. 特記なき建具の硝子止めは、シーリングとする。
8. 建具の塗装に関する色・柄等は、全て図示又は係員の指示による。
9. その他不明の点は、係員の指示によるものとする。

符号・位置・数量	1 AW 和室・洋室 3ヶ所	2 AW LDK 1ヶ所	3 AW トイレ・浴室 2ヶ所
図			
名 称	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓
仕上・見込	アルマイト処理 (ブロンズ) 見込: 70	アルマイト処理 (ブロンズ) 見込: 70	アルマイト処理 (ブロンズ) 見込: 70
ガラス	LOW-eペアガラス (遮蔽) (5mmフロート + A12 + 3mmフロート)	LOW-eペアガラス (遮蔽) (5mmフロート + A12 + 3mmフロート)	LOW-eペアガラス (遮蔽) (5mmフロート + A12 + 4mm型板)
額 縁	窓枠20×95 (システム造作部材)	窓枠20×95 (システム造作部材)	窓枠20×95 (システム造作部材) ※浴室はUBセットに含む
金 物	ロック付きクレセント、アルミ水切り 付属金物一式	ロック付きクレセント、アルミ水切り 付属金物一式	ロック付きクレセント、アルミ水切り 付属金物一式
備 考	可動式網戸、カーテンレール (ダブル)	可動式網戸、カーテンレール (ダブル)	可動式網戸、アルミ面格子 (縦)

※窓台、まぐさ等の断面は見付寸法45mm以上とする。
 ※間柱は@500以下に適切に配置すること。
 ※窓台と間柱を強固に固定。サッシ (ドア) 重量による窓台の「前垂れ」、まぐさの「ころび」防止のため、
 ねじ止めとする場合は、1箇所当たり2点止め以上、ねじ込み深さは75mm以上を目安とすること。
 ※サッシ枠取付前に窓台へ「先張防水シート」を施工し、コーナー部及び枠廻りに防水テープを適切に施工すること。
 ※防水シート及び防水テープは施工順序、重なりしりを充分確保し、コーナー部は特に配慮の上施工を行うこと。
 ※先張り防水シートと外壁の透湿防水シートの重なり順序に注意すること。

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	金属製建具表
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	S=1:60
概 要	管理建築士 監 計 製 図	図面番号	A-19
校 印		名 称	株式会社 富平設計
		資格者氏名	廣志保 博高
		登録番号	1級建築士事務所 144-333号
		所在地	1級建築士事務所 (大田) 第320997号 沖縄県那覇市首里山崎3丁目61番6号



天井伏図 S=1/60

■仕上凡例

ア	t100断熱材(高性能GW10k)敷きの上 t9ラワン合板下地、ビニールクロス貼り
イ	t100断熱材(高性能GW10k)敷きの上 t9シナ合板(塗装品)目透し張り
ア	t12ラワン合板野地板張り、φ15野地竹張り 垂木 φ60(φ303)、軒先四隅は扇垂木納まり
Ｂ	t10ケイカル板目透し張りEP塗り
	天井点検口(アルミ製 額縁タイプ 450角)
備考	廻り縁： 和室：25×45(杉材) (OS・CL塗) その他：7×36.5(気密タイ') (タ'イソ同等品)

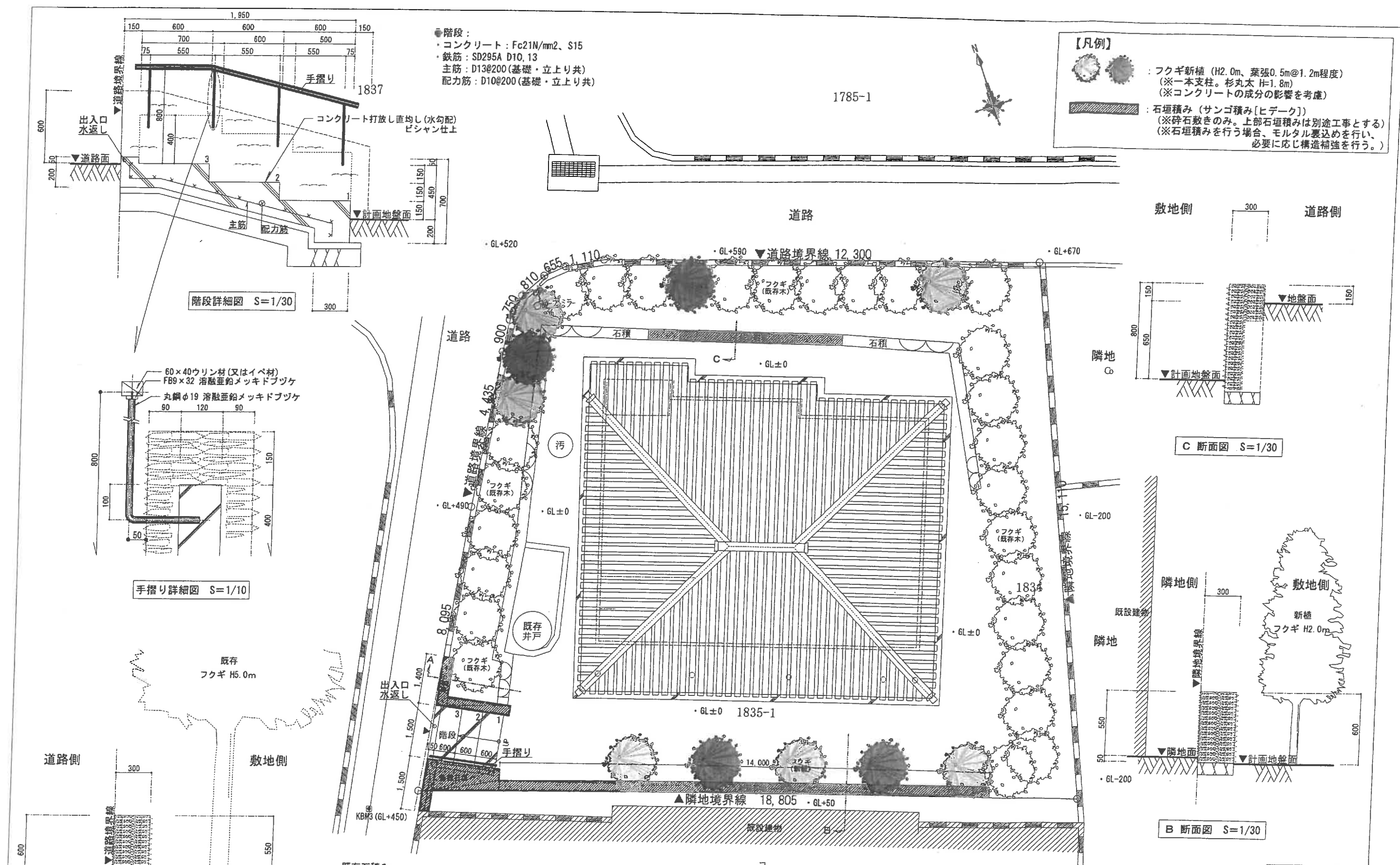
斜線部：下がり天井部分を示す。
色塗部：φ15野地竹部分を示す。

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 彦根市多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	彦根市1835番地1	図面名称	天井伏図
発注機関	彦根市 経済課	縮 尺	S=1:60
操 業		図面番号	A-21
検 印	管理建築士	設 計	名 称 株式会社 宮平設計
		製 図	資格者氏名 眞志保 博基
			登録番号 1級建築士事務所 144-33号
			所在地 外観県道彦根市山内町3丁目61番9号

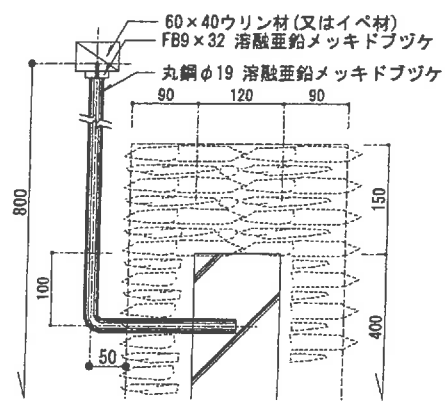
【凡例】

- フクギ新植 (H2.0m、葉張0.5m@1.2m程度)
(※一本支柱。杉丸太 H=1.8m)
(※コンクリートの成分の影響を考慮)
- 石垣積み (サンゴ積み[ヒデーク])
(※砕石敷きのみ。上部石垣積みは別途工事とする)
(※石垣積みを行う場合、モルタル裏込めを行い、必要に応じ構造補強を行う。)

●階段:
 ・コンクリート: Fc21N/mm²、S15
 ・鉄筋: SD295A D10、13
 主筋: D13@200(基礎・立上り共)
 配筋筋: D10@200(基礎・立上り共)

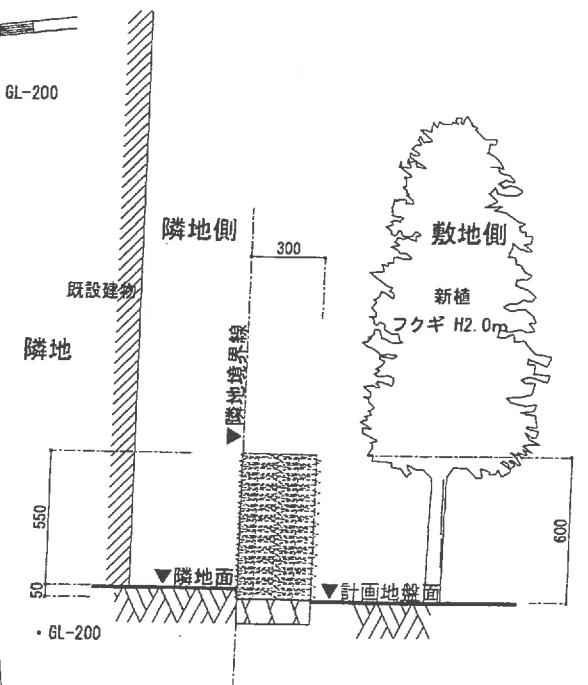


階段詳細図 S=1/30

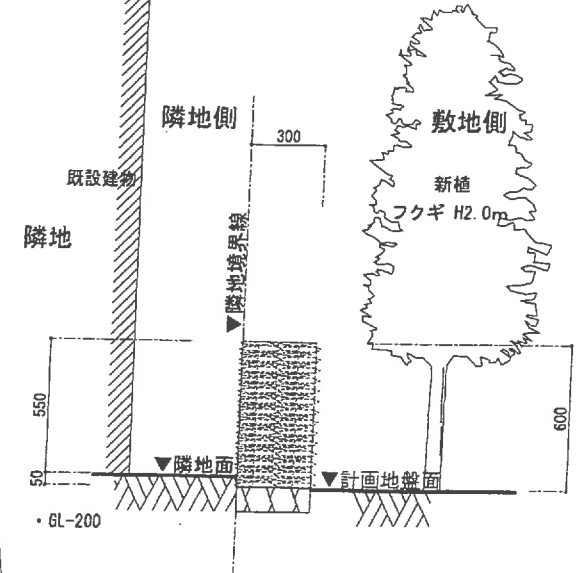


手摺り詳細図 S=1/10

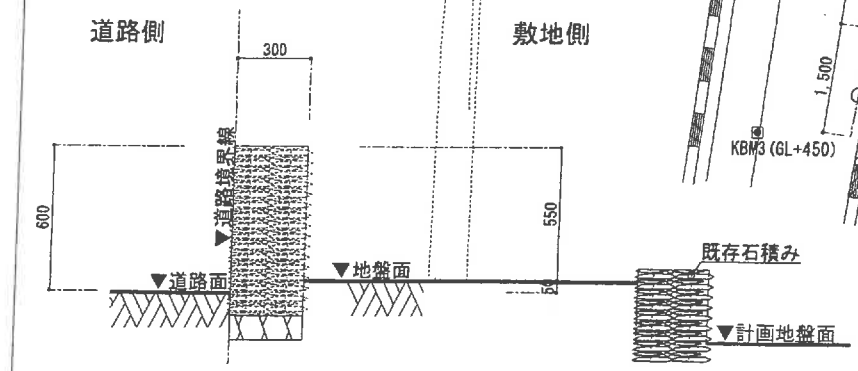
C断面図 S=1/30



B断面図 S=1/30



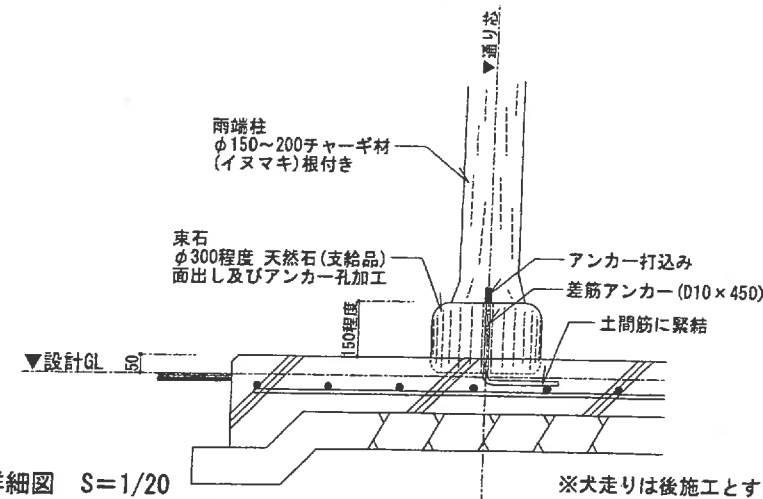
A断面図 S=1/30



外構図 S=1/100

※新設MB取付位置にコンクリート壁(屏風)を設置(建築工事)

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 浪名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	浪名喜村1835番地1	図面名称	外構図
発注機関	浪名喜村 経済課	縮尺	S=1:100、30、10
摘要		図面番号	A-22
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	眞志保 博基
		登録番号	1級建築士事務所 144-33号
所在地	1級建築士事務所 (大田) 東京20897号 沖縄県那覇市首里山町3丁目61番9号		

$$S=1:30$$


断面詳細図 S=1/30

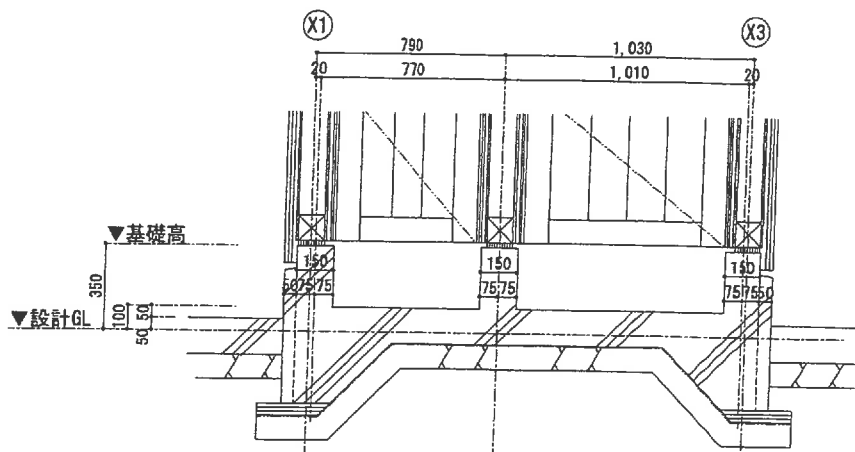
※防虫網は開口率以上かつ機能性を損なわないものとする。
固定方法は係員との協議による。

※防虫網は開口率以上かつ機能を損なわないものとする。
固定方法は係員との協議による。

※犬走りは後施工とする。

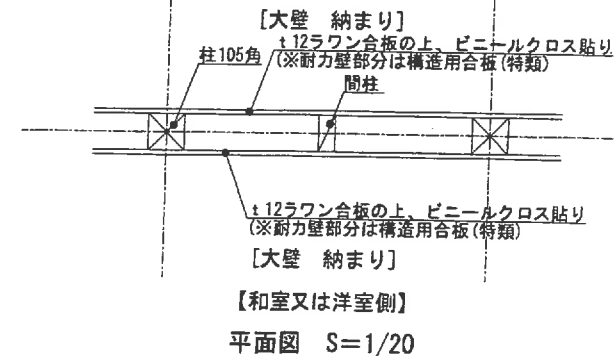
※防虫網は開口率以上かつ機能を損なわないものとする。
固定方法は係員との協議による。

S=1 : 30


$$S=1:20$$

$S=1 : 20$

【洋室側】



【大壁 納まり】

柱105角

±12.5石膏ボード2重張りの上、ビニールクロス貼り

間柱

±100高性能グラスウール 24K

±12.5石膏ボード2重張りの上、ビニールクロス貼り

【大壁 納まり】

【和室又は洋室側】

平面図 S=1/20

※耐力壁となる部分は、1層目を構造用石膏ボード(12.5mm以上)とする。

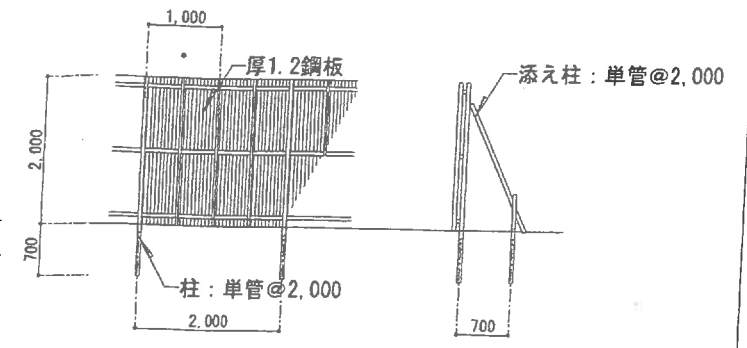
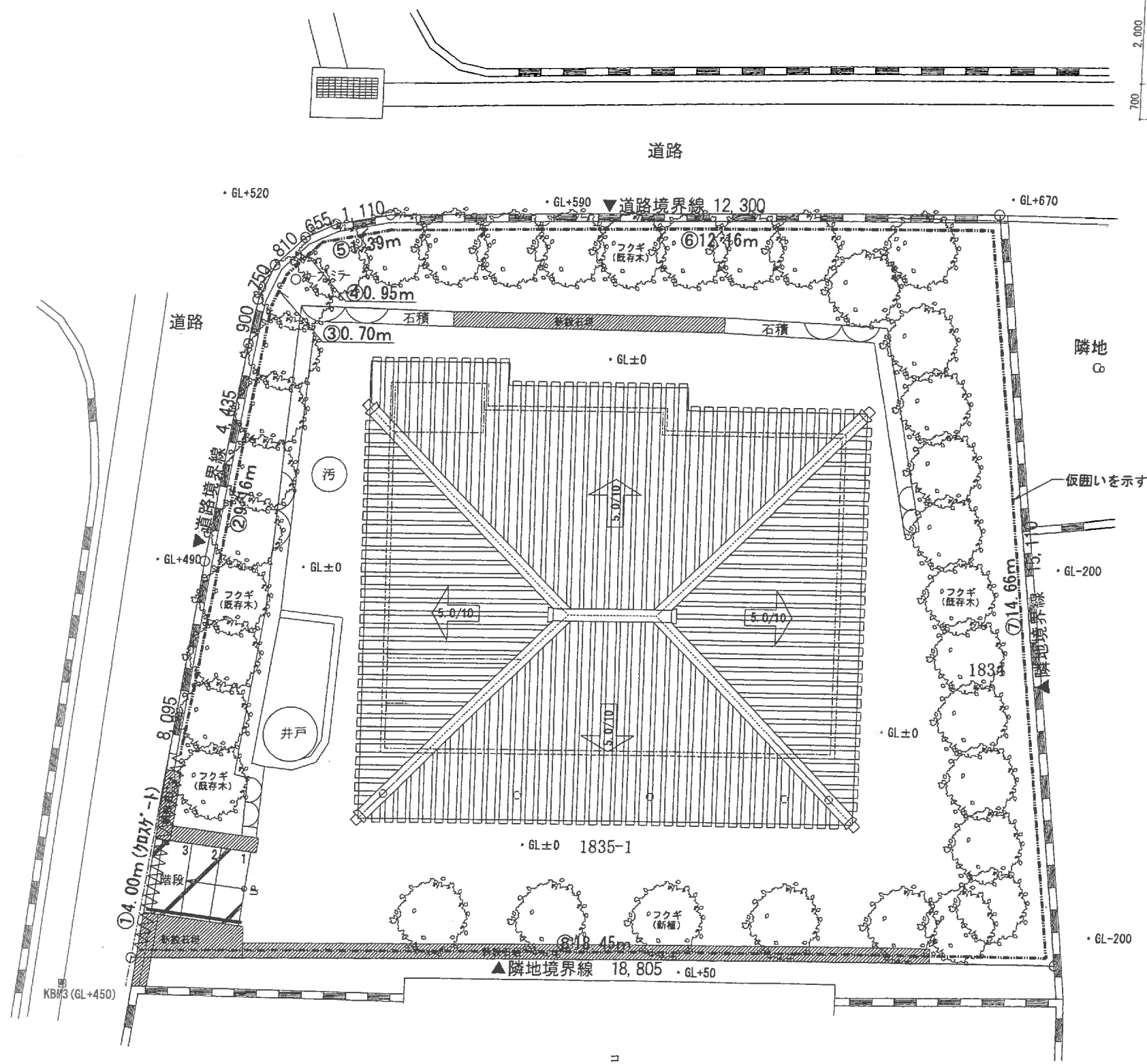
上記各詳細図によるほか、必要に応じ係員と協議の上、適宜納めること。

工事名称	令和 7 年度 彦名喜村多用途住宅施設工事	工事年度	令和 7 年度
工事場所	彦名喜村183番地1	図面名称	雑駁細図
免状機関	彦名喜村 経済課	縮 尺	5=1:20.30
摘 要		図面番号	A-24
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		股 名 氏 称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	廣志保 博基
		登録番号	1級建築士事務所 第14 号 4-33号 登録建築士 (大匠) 第320997号
		所 在 地	新潟県新潟市東区山崎3丁目6番9号

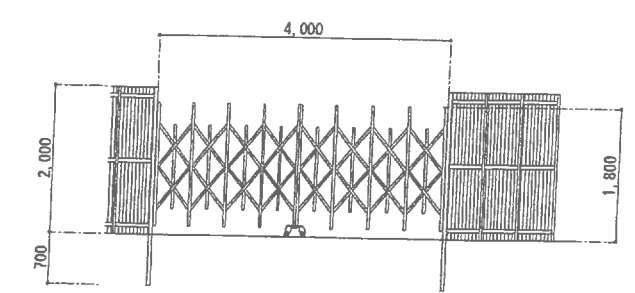


1837

1785-1



仮囲い図
SCALE=1:100



クロスゲート図
SCALE=1:100

■仮囲い長さ

符号	長さ (m)	クロスゲート (箇所)
①	* 4.00	1
②	9.16	
③	0.70	
④	0.95	
⑤	1.39	
⑥	12.16	
⑦	14.66	
⑧	18.45	
合計	57.47	1

- 特記事項
- ①仮囲いの長さ、ゲート位置は、現場状況等により適宜変更可とする。
 - ②仮囲い設置期間は、4か月程度とする。
 - ③コンクリート圧送に際し、輸送管を想定した仮設計画を行うこと。

隣地 1835

仮設計画図 S=1/100

Aタイプ		
工事名称	令和7年度 彦名喜村多用途住宅建設工事	工事年度 令和7年度
工事場所	彦名喜村1835番地1	図面名称 仮設計画図
発注機関	彦名喜村 経済課	縮尺 S=1:100
摘要		図面番号 A-25
検印	管理建築士	設計
	監計	製図
	名称	株式会社 宮平設計
	資格者氏名	真志保 博基
登録番号		1級建築士事務所 144-33号
所在地		1級建築士事務所 (大田) 第320997号 外観撮影所 彦名喜村3丁目1番9号

構造標準仕様書 - 1

(1) 建築物の構造概要

用途	■ 多用途住宅		
工事種別	■ 新築	□ 増築	
規模	■ 地上 1 階	□ 地下 0 階	
構造種別	■ 木造軸組構造	□ 壁式コンクリート構造	□ ()
垂直積雪量	0 cm	■ 一般区域	□ 多雪区域
基準風速	46 m/s		
地表面粗度区分	□ I □ II ■ III □ IV		
耐震等級	□ 1 □ 2 ■ 3		
耐風等級	□ 1 ■ 2		
耐積雪等級	□ 1 □ 2 ■ 該当なし (多雪区域のみ)		

(2) 地業工事

- 地業 (砕石・割栗石)
- 直接基礎 : ベタ基礎
- 地耐力 (長期) : 20 kN/m²以上
- 地盤改良 :
- ※ 地耐力が満たない場合、地盤補強等を行い設計地耐力を確保すること

(3) 地盤

地盤調査方法	□ スウェーデン式サウンディング試験
	□ 標準貫入試験
	■ 平板載荷試験
地盤種別	□ 第1種 (硬質) □ 第2種 (普通) □ 第3種 (軟弱)

(5) 鉄筋コンクリート工事

I. コンクリート

- コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関してはJASS5 (最新版) による。
- セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- 寒中、暑中コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査・打ち込み養生・管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則、工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行う。
- 圧縮強度試験供試体 (JASS5 T-603) は、現場封かん養生とし、採取は打ち込み工程毎及び150mm3につき1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔を置いて必要本数採取する。尚特別指示なき場合は1回当たり6本以上とし4週間に3本とする
- ポンチ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、床スラブにおいては、コンクリートの自由落下高さは1m以下とする。打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温25℃未満の場合は2.5時間、25℃以上の場合は2時間以内とする。

II. 鉄筋

- 鉄筋はJIS G3112 の規格品を標準とし、施工に関してはJASS5 (最新版) による。
 - 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、継ぎ手位置、継ぎ手の長さ、定着長さは、「標準図」による。(令73条)
 - 鉄筋は、すべて重ね継ぎ手とする。帯筋の加工はH型 (タガ型) とする。
 - 鉄筋は、外観検査を実施する。
- (6) 設備関係
- 建築設備の構造及び構造体への緊結部分は構造耐力上安全な構造方法を用いる
 - 支持構造部及び緊結金物は錆止め等防腐の為に有効な措置を講じる (令49条)
 - 設備配管は地震時等の建物変形に追従、及び、適切に支持できること
 - 設備機器の架台及び基礎は、地震・風圧力に対して構造耐力上安全であること
 - 木造梁への貫通孔は設けない

(4) 使用構造材料

I. 木材

- 節・腐れ・繊維の傾斜・丸身等による耐力上の欠点が無いもの (令41条)
- 横架材の中央部附近の下側に耐力上支障のある欠き込みをしない (令44条)

II. コンクリート

JIS A 5308 のレディーミクストコンクリートとする

設計基準強度 F_c : □18 ■21 □24 □27 □30

耐久設計基準強度 F_d : □18 ■24 □30 □36

品質基準強度 F_q : □18 □21 ■24 □27 □30 □36

$F_q = \max (F_c, F_d)$

温度補正 (呼び強度は品質基準強度に下表の値を加算する)

打設より28日間の予想平均気温	補正值
8℃以上 (暑中期間を除く)	+3
0℃以上8℃未満	+6
暑中期間 (日中平均気温年間25℃以上)	+6

セメント: 普通ポルトランドセメント

スランプ: 18cm 以下

コンクリート打ち込み中及び打ち込み後5日間は温度が2℃を下回らないこと (令75条)

III. 鉄筋

JIS G 3112 とする

■ SD295 (D16以下) □ SD345 (D19以上)

※その他建築材料の品質・耐久に関して法37条及び令37条による

※屋根ふき材、外装材に関して令39条による

鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の長さ	4d 以上	6d 以上	8d 以上 (※4d 以上)
折曲げの内法寸法 R は、SD295 の D16 以下は、3d 以上 D19 以上は 4d 以上			

鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度 90° 以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内径の寸法 (R)
	帯筋 あばら筋	SD295	φ16, D16 以下	3d 以上
			φ19, D19 以上	4d 以上
	上記以外の鉄筋	SD295	φ16, D16 以下	6d 以上
			φ19 ~ φ25, D19 ~ D25	8d 以上
			φ28 ~ φ32, D28 ~ D32	8d 以上

鉄筋の定着及び重ね継ぎ手の長さ

鉄筋の種類	設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ		重ね継ぎ手の長さ
		一般	下地筋	
			小梁	スラブ
SD295	24 ~ 27	30d または 20d フックつき	20d または 10d フックつき	35d または 25d フックつき
	27	35d または 25d フックつき	10d フックつき	40d または 30d フックつき
	18	40d または 30d フックつき		45d または 35d フックつき

※参考数値 D13: 40d=520mm, 35d=455mm, 30d=390mm, D16: 40d=640mm, 35d=560mm, 30d=480mm

(7) 型枠

- 合板厚は12mmを標準と、施工はJASS5 (最新版) とする。存置期間は下表による。
- 型枠く及び支柱の除去は施行令第76条による。

種類		せき板				支柱			
部位		基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下	
セメントの種類		早強	普通	早強	普通	早強	普通	早強	普通
		ポルトランドセメント	ポルトランドセメント	ポルトランドセメント	ポルトランドセメント	ポルトランドセメント	ポルトランドセメント	ポルトランドセメント	ポルトランドセメント
		高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種
		シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種
		シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種
材齢〔日〕	存置平均：20℃以上	2	4	4	6	8	17	28	28
	存置平均：10℃～20℃	3	6	6	10	12	25	28	28
	存置平均：10℃未満	5	8	10	16	15	28	28	28
コンクリートの圧縮強度		5.0N/mm ²		設計基準強度 50%		設計基準強度			
						85%			
						100%			

注1 片持ばり、庇、スパン8.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注5 支柱の盛替えは、小梁が終ってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えをしてはならない。

注6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

注7 コンクリート圧縮強度による場合は、必ず監理者と協議の上決定する。この場合、設計を品質と読み換える。

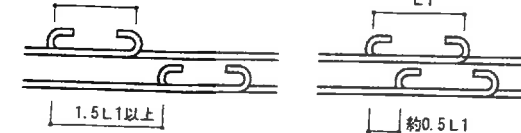
注8 せき板の取り外し後、JASS5 B. 2. 6 に示す圧縮強度が得られるまで

湿潤養生をしない場合は、型枠存置期間のコンクリート圧縮強度を1.0と読み換える。

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継ぎ手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継ぎ手長さは、細い方の鉄筋の継ぎ手長さとする

重ね継ぎ手 (下図のいずれかとする)



かぶり厚さ (令79条)

かぶり厚さ	(単位: mm)	
	屋内	屋外
構造部材 (柱、梁、耐力壁、床スラブ、屋根スラブ)	30	40
直接土に接する柱、梁、壁、床および布基礎の立上り部		40
基礎		60

鉄筋のあき

異形鉄筋

1.5d 以上 (鉄筋間隔 2.5d 以上)

丸鋼

1.5d 以上 (鉄筋間隔 2.5d 以上)

粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上

鉄筋のフック (a~cに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける)

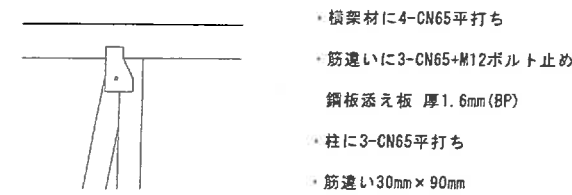
- あばら筋、帯筋、幅止め筋
- 単純梁の下地筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

構造標準仕様書 - 2

(1) 鉛直構面：筋違い・面材耐力壁

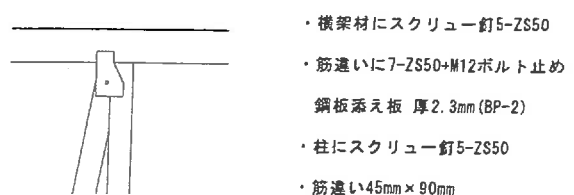
① 筋違いー30mm×90mm以上の木材

端部の仕様：平12建第1460号第1 ハ
または同等認定品(1.5倍用)の筋違いプレート



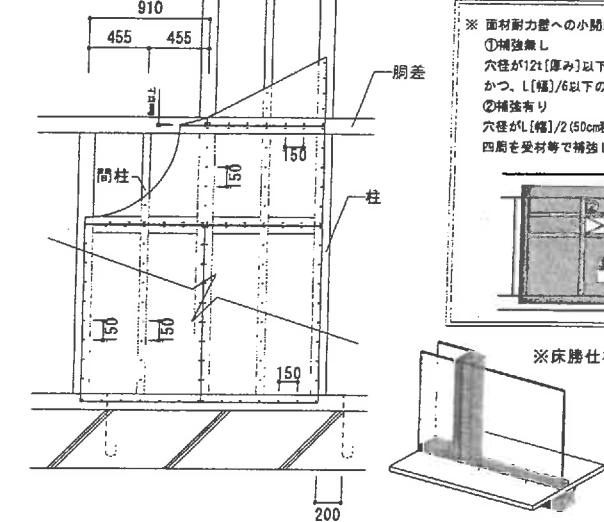
② 筋違いー45mm×90mm以上の木材

端部の仕様：平12建第1460号第1 ニ
または同等認定品(2.0倍用)の筋違いプレート



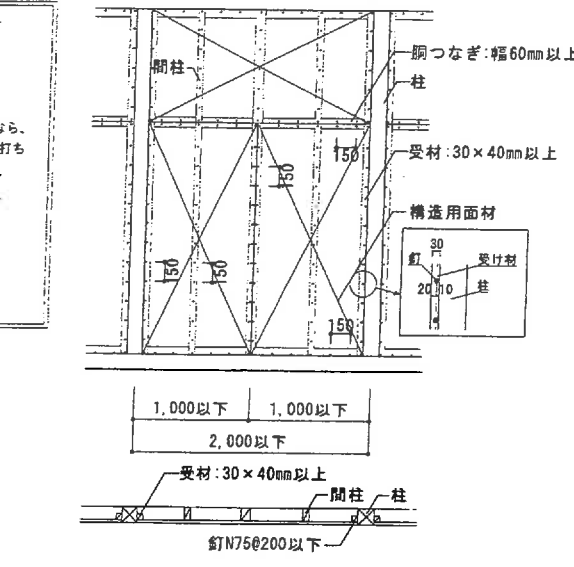
③ 面材張り大壁

面材の種類：構造用合板、構造用パーティクルボード等

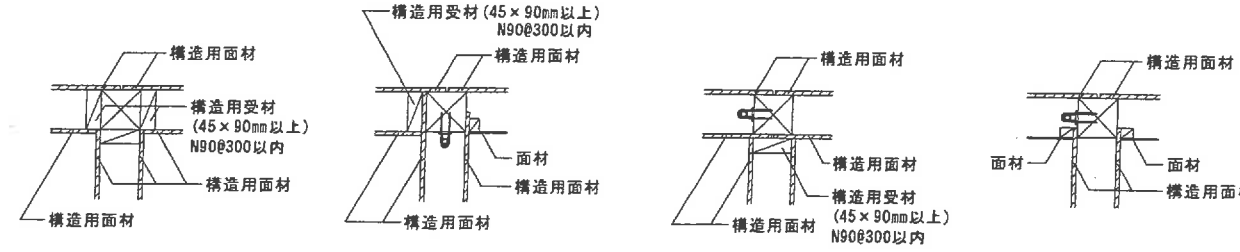


④ 受材仕様真壁

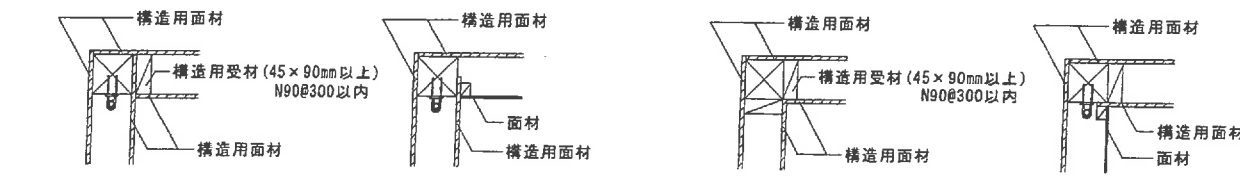
面材の種類：構造用合板、構造用パーティクルボード等



※ 構造用面材のT字部の取合い

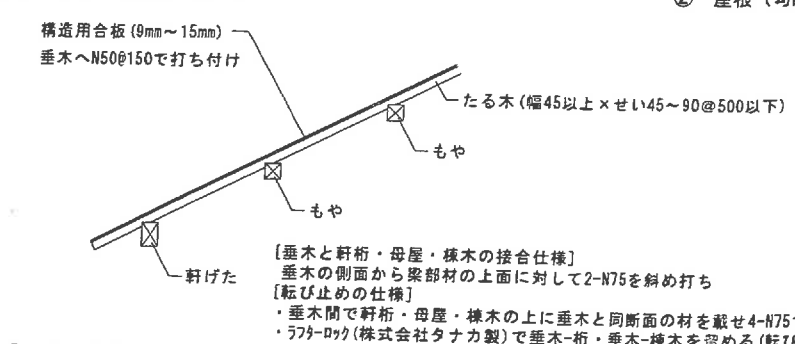


※ 構造用面材の隅部の取合い

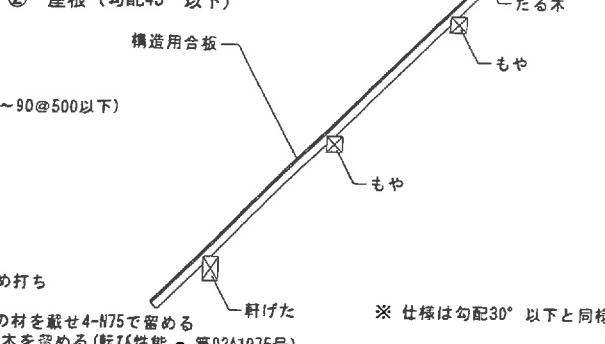


(2) 水平構面：屋根・床

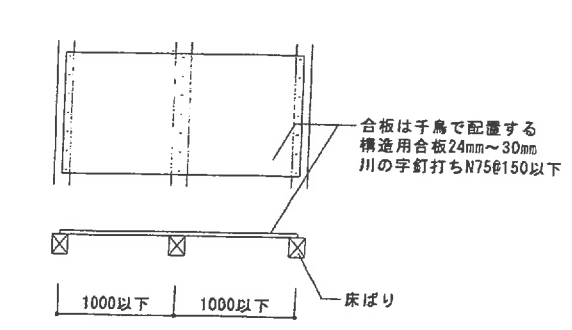
① 屋根 (勾配30°以下)



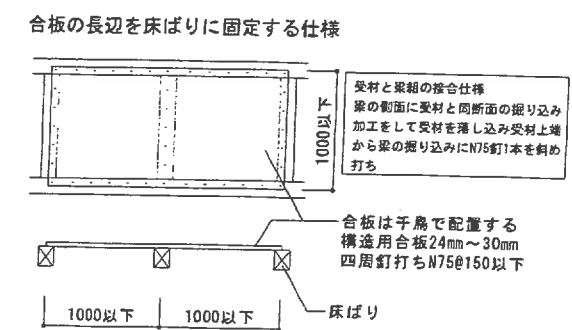
② 屋根 (勾配45°以下)



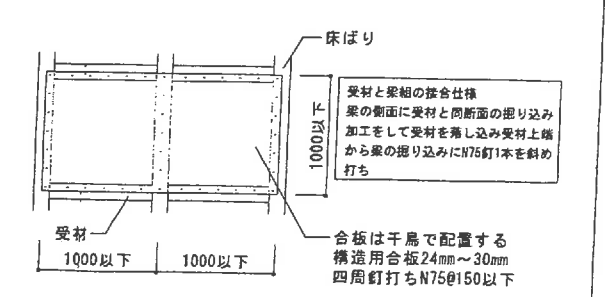
③ 床、屋根 (構造用合板川の字釘打ち)



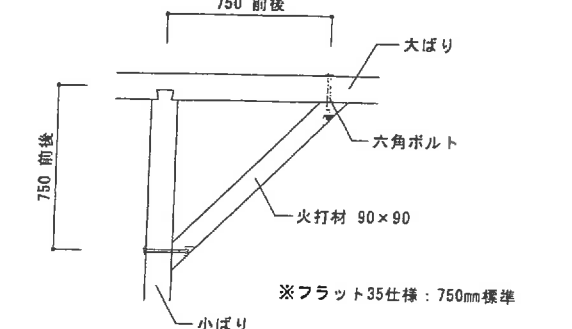
④ 床、屋根 (構造用合板四周釘打ち)



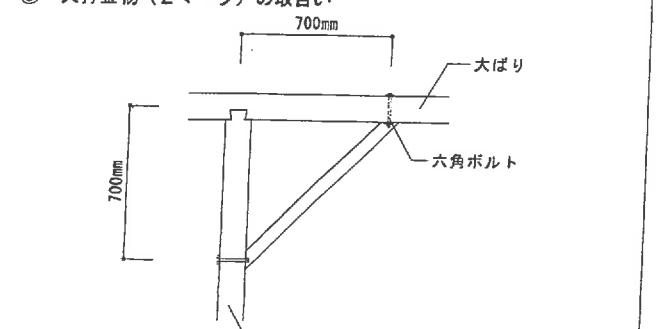
合板の短辺を床ばりに固定する仕様



⑤ 木製火打ちの取合い



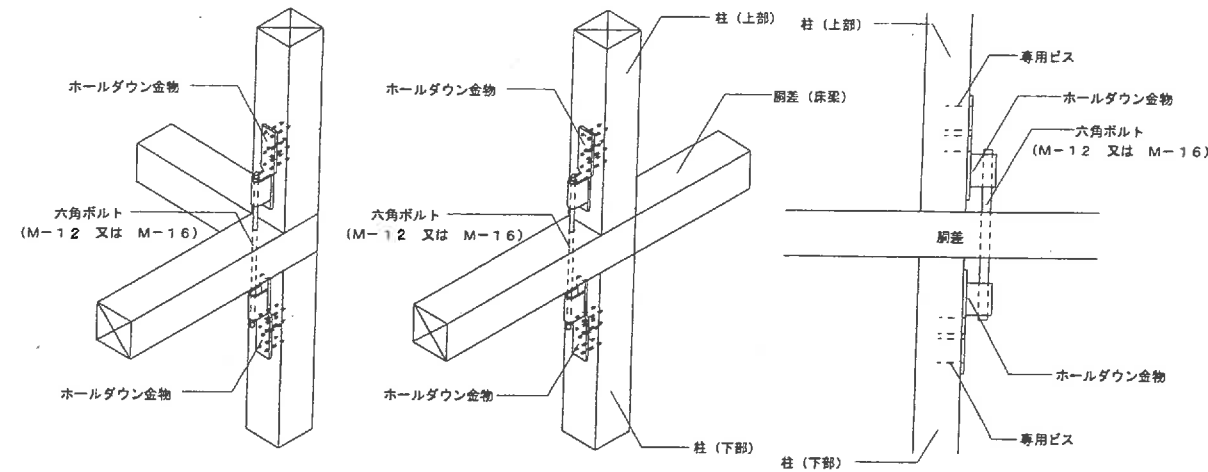
⑥ 火打金物 (Zマーク) の取合い



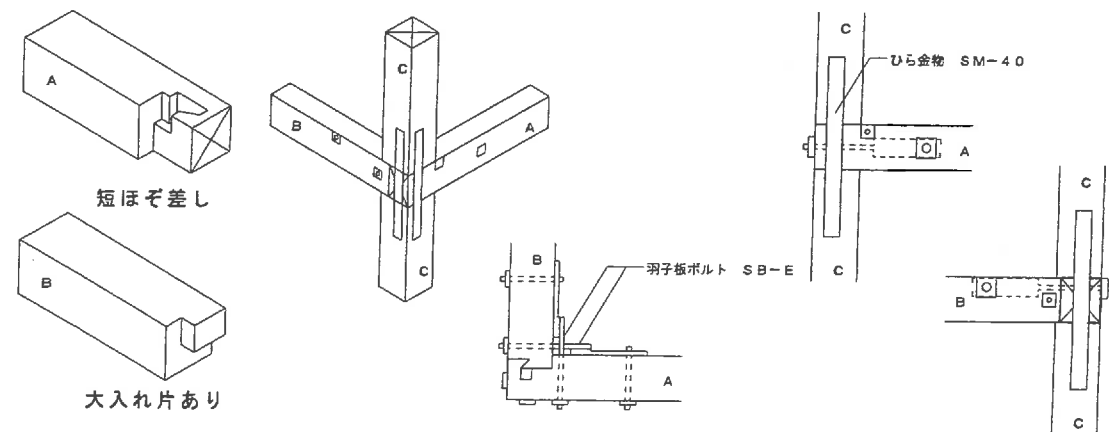
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	構造標準仕様書-2
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	
摘要		図面番号	S-02
設計者	管理建築士	設計	製図
校印		名称	株式会社 宮平設計
		資格者氏名	眞志保 博基
		登録番号	1級建築士事務所144-333号 1級建築士登録(大臣)第320907号
		所在地	神奈川県横浜市青葉区山手町9丁目61番9号

構造標準仕様書 - 3

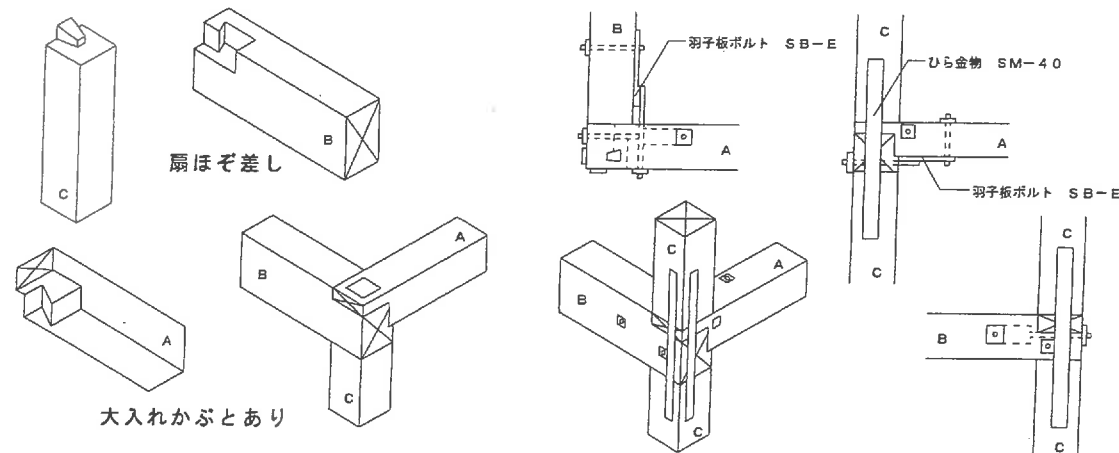
(3) 通し柱に代わる管柱の補強



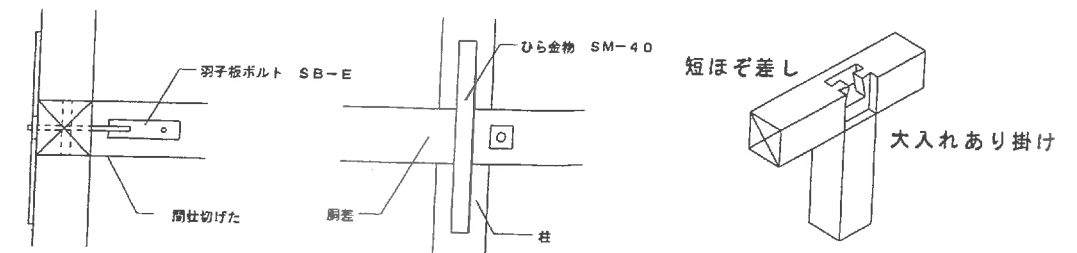
(4) 隅柱 (直交する胴差がほぼ同寸でかつ同一高さで取合う場合)



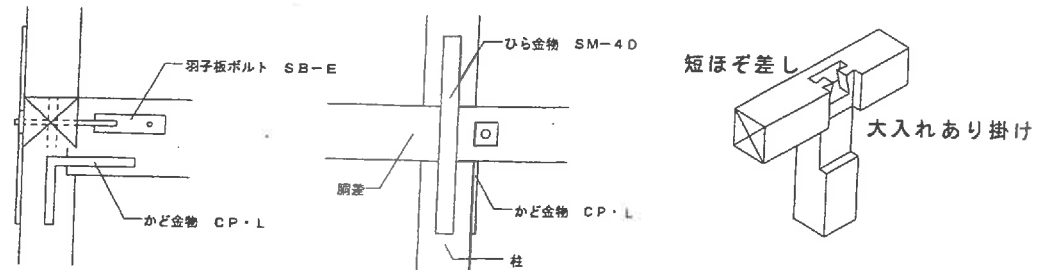
(5) 隅柱 (直交する胴差の成が異なり段違いに取合う場合)



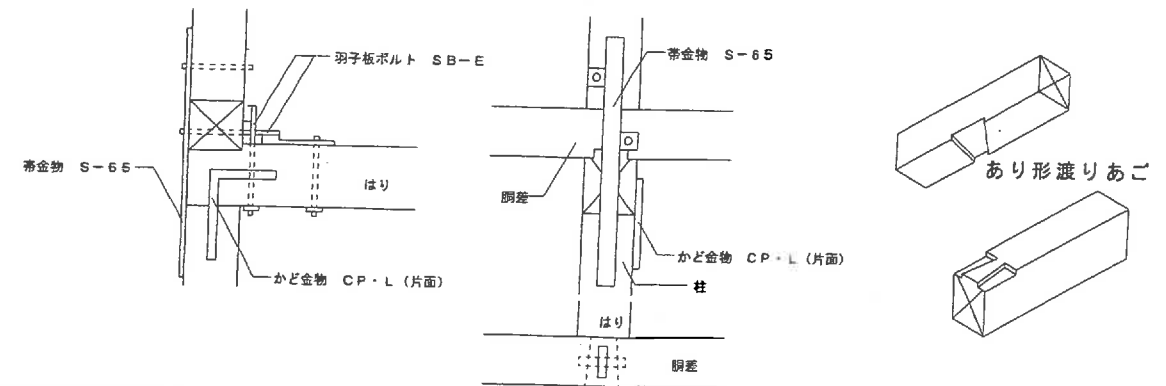
(6) 隅柱に準ずる柱 (胴差と同寸程度の間仕切桁が胴差と直交して取合う場合)



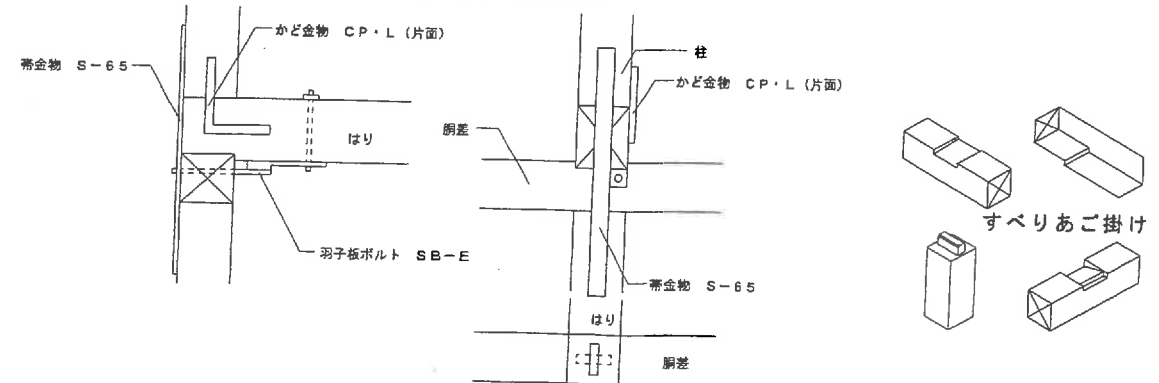
(7) 隅柱に準ずる柱 (胴差と直交する床ばりに上端が揃う場合)



(8) 隅柱に準ずる柱 (胴差と直交する床ばりが胴差の下側にある場合)



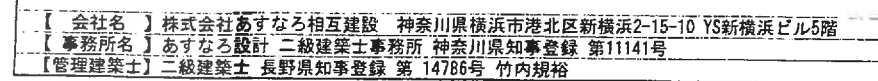
(9) 隅柱に準ずる柱 (胴差と直交する床ばりが胴差の上側にある場合)



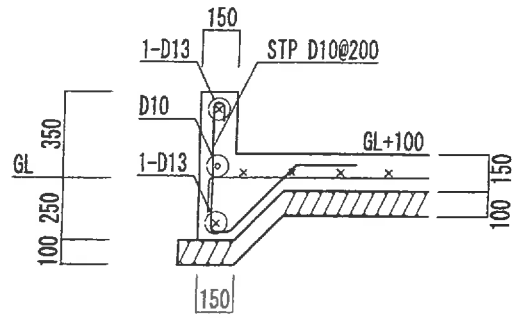
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	構造標準仕様書-3
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	
摘要		図面番号	S-03
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	橋本 博基	
	登録番号	1級建築士事務所 144-33号 1級建築士 (大匠) 第20997号	
	所在地	神奈川県横浜市港北区山崎町3丁目6番9号	

	スラブ	スラブ FS1
	基礎梁	外周部 FG1 内部 FG2
	アンカーボルト	M12 埋込み長さ250mm～
	HD用アンカー	M16 埋込み長さ360mm～
	柱	

多用住宅建築工事		工事年度	令和 7 年度	
		図面名称	基礎伏図	
		縮 尺	1/50	
		図面番号	S-04	
計	製 図	設 計 者	名 称	株式会社 富平設計
			資格者氏名	眞志保 博基
			登録番号	1級建築士登録番号 144-3-3号 1級建築士登録 (次) 第 320997号
			所 在 地	沖縄県那覇市宜野座山3丁目8番9号

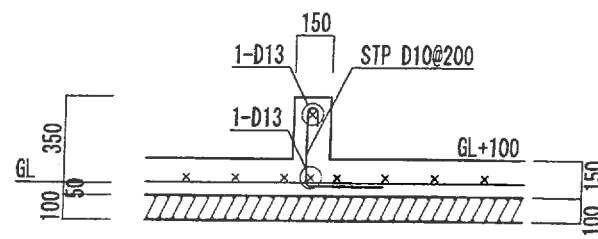


工事名称	令和7年度 汲名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和 7 年度
工事場所	汲名喜村1835番地1	図面名称	基礎伏図
発注機関	汲名喜村 経済課	縮 尺	1/50
拘 要		図面番号	S-04
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	株式会社 寛平設計	
	資格者氏名	眞志保 博基	
	登録番号	1級建築士第3号第144-93号 1級建築士第2号第320997号	
	所 在 地	沖縄県那覇市首里山川町3丁目61番9号	



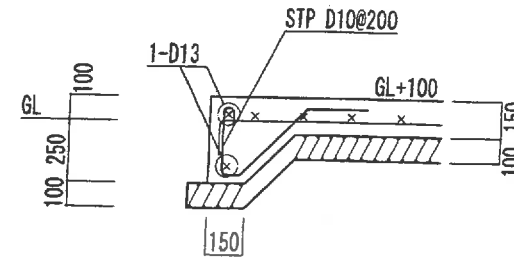
【FG1】

※特記無き外周部はFG1とする



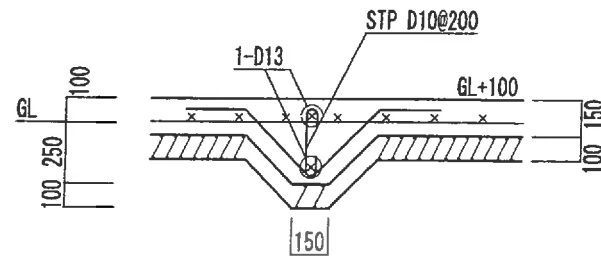
【FG2】

※特記無き内部はFG2とする



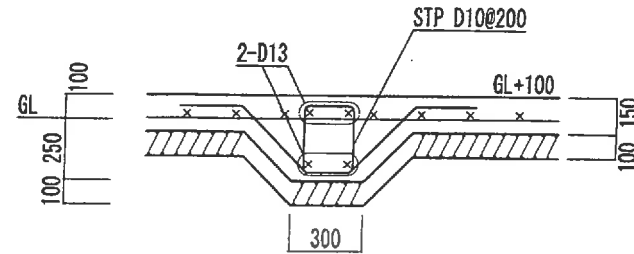
【FG3】

※立上がりはFG2に従う



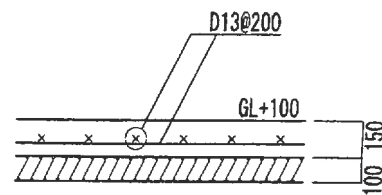
【FG4】

※立上がりはFG2に従う



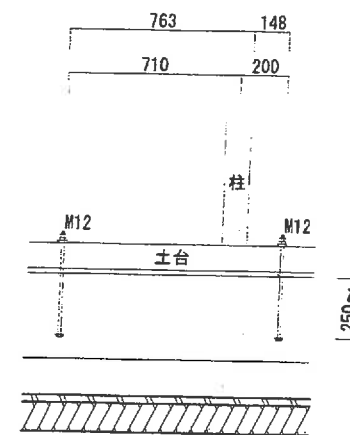
【FG5】

※立上がりはFG2に従う



【FS1】

※特記無きスラブはFS1とする

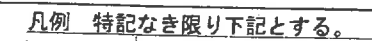


【アンカーボルト位置】

※ 砕石及び捨てコンクリートの厚みに関しては適宜変更可とする。
※ 立上り部のせん断補強筋端部は、
フック又は溶接(工場加工品、ユニット鉄筋)とすることが望ましい。
文献:「木造住宅工事仕様書」住宅金融支援機構

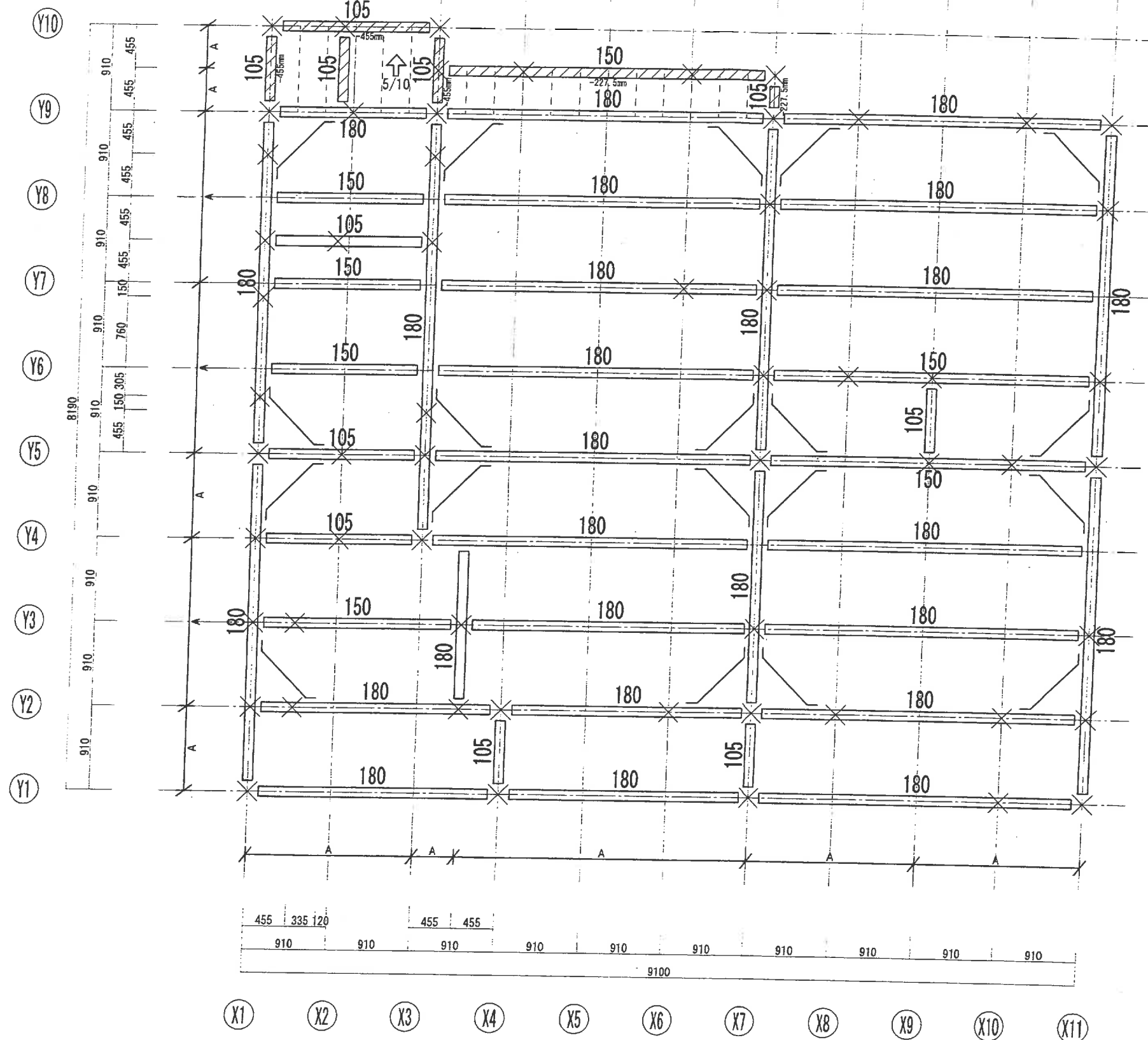
【会社名】株式会社あすなろ相互建設 神奈川県横浜市港北区新横浜2-15-10 YS新横浜ビル5階
 【事務所名】あすなろ設計 二級建築士事務所 神奈川県知事登録 第11141号
 【管理建築士】二級建築士 長野県知事登録 第 14786号 竹内規裕

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 彦名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和 7 年度
工事場所	彦名喜村1835留地1	図面名称	基礎断面詳細図
発注機関	彦名喜村 経済課	縮 尺	1/30
摘 要		図面番号	S-05
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	眞志保 博基	
	登録番号	1級建築士事務所 144-33号 1級建築士登録(大臣) 第320007号	
	所 在 地	神奈川県横浜市青葉区山手町3丁目6番9号	



- ※ 地面から1m以内の主要軸組には有効な防腐防蟻措置を講ずる(令49条第2項)
- ※ 樹種は同等以上で変更可
- ※ 柱ほぞ寸法は30×90とする(在来工法)
- ※ 特記なき継手・仕口は、断面の大きい方を勝たせる。
(同断面の場合にはどちらか一方)

【会社名】 株式会社あすなろ相互建設 神奈川県横浜市長谷区新横浜2-15-10 YS新横浜ビル5階
【事務所名】 あすなろ設計 二級建築士事務所 神奈川県知事登録 第11141号
【管理建築士】 二級建築士 長野県知事登録 第 14786号 竹内規裕



凡例 特記なき限り下記とする。

***	梁	105×***
		杉 無等級材
/	火打ち	鋼製 又は 木製90×90~
-----	垂木	60×75@303 杉 無等級材 転ばし、転び止め無
	野地板	構造用合板12mm N50@150

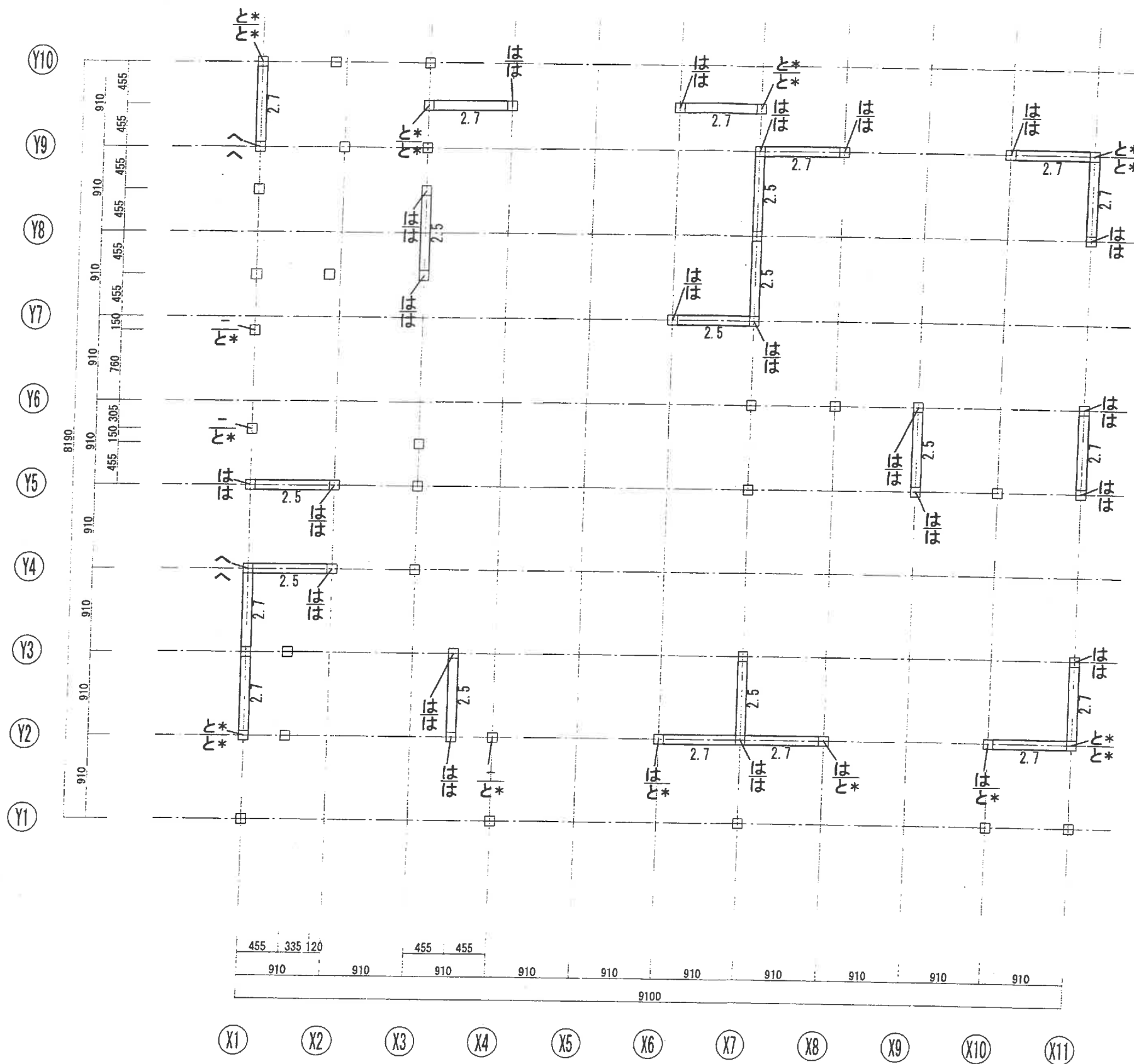
※ 樹種は同等以上で変更可
※ 特記なき継手・仕口は、
断面の大きい方を勝たせる。
(同断面の場合にはどちらか一方)

※ 外周部「A、B、C、D、E」の区間に
継手、仕口が来る場合の横架材金物は
以下の表の通りとする。

配	継手	仕口
A	床掛け継ぎ+ 短冊金物	[横架材]大入れ継ぎ+羽子板 [通し柱]大入れほぞ差し+ (羽子板、短冊、かね折り)
B	床掛け継ぎ+ 短冊金物	[横架材]大入れ継ぎ+羽子板 [通し柱]大入れほぞ差し+ (羽子板、短冊、かね折り)+スクリュー釘
C	床掛け継ぎ+ 短冊金物	[横架材]大入れ継ぎ+羽子板 [通し柱]大入れほぞ差し+ (羽子板、短冊、かね折り)×2
D	床掛け継ぎ+ 短冊金物×2	[横架材]大入れ継ぎ+羽子板×2 [通し柱]大入れほぞ差し+HD15kN横使い
E	HD25kN両引き フィックスプレート12枚	[横架材]大入れ継ぎ+HD25kN横使い [通し柱]大入れほぞ差し+HD25kN横使い

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	小屋伏図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	1/50
拘 要		図面番号	S-07
校 印	管理建築士	設 計	名 称 株式会社 宮平設計
		製 図	資格者氏名 廣志保 博基
			登録番号 1級建築士登録第144-33号 1級建築士登録(大臣)第320997号
			所在地 沖縄県那覇市首里山崎3丁目61番9号

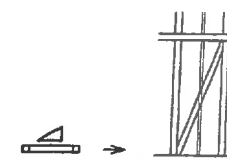
【会社名】株式会社あすなろ相互建設 神奈川県横浜市港北区新横浜2-15-10 YS新横浜ビル5階
【事務所名】あすなろ設計 二級建築士事務所 神奈川県知事登録 第11141号
【管理建築士】二級建築士 長野県知事登録 第 14786号 竹内規裕



【耐力壁関係】

凡例	倍率	耐力壁仕様
2.7	2.7	タイガーEXハイパー 大壁(一般部) NZ50E75(中通りφ150) FRM-0678
2.5	2.5	構造用合板(外壁:特種)9mm以上 大壁及び大壁床勝ち N50E150 受材30mm×40mm以上 N75E200
2.5	2.5	構造用合板(外壁:特種)9mm以上 真壁及び真壁床勝ち N50E150 受材30mm×40mm以上 N75E300

- ・耐力壁の詳細仕様は計算書による
- ・筋違最小幅900mm(階高3.15m)
- ・面材 最小幅600mm(階高3.00m)



【柱頭柱脚金物関係】

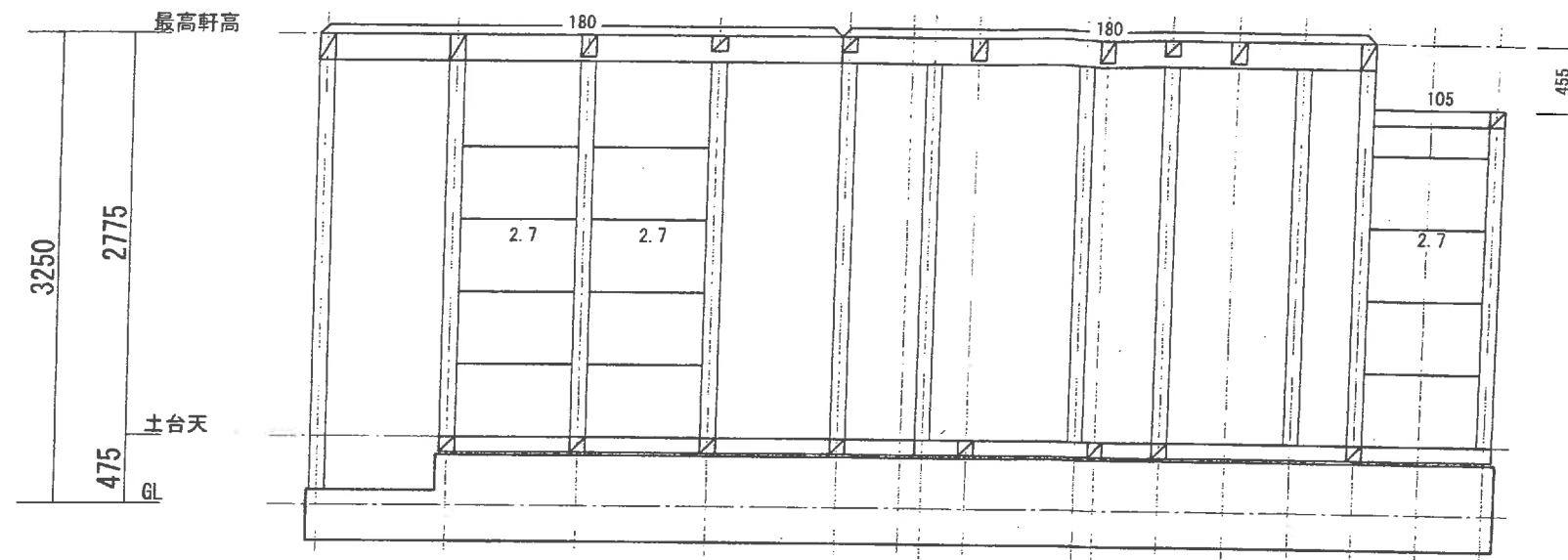
凡例	耐力	金物仕様
い	0.0	短ほど差し, かすがい
ろ	3.4	かど金物CP-L等
は	5.1	かど金物CP-T, 山形プレートVP等
に	7.5	羽子板φ10, 短冊金物(スクリュー釘無)
ほ	8.5	羽子板φ10, 短冊金物(スクリュー釘有)
へ	10.0	引き寄せ金物 HD-B10(S-HD10)
と*	15.0	引き寄せ金物 HD-B15(S-HD15)
ち*	20.0	引き寄せ金物 HD-B20(S-HD20)
り*	25.0	引き寄せ金物 HD-B25(S-HD25)
ぬ*	35.0	ビース止めホルダ U35(タカ製)

- ・金物は同等の耐力以上のものに変更する場合は可
- ・特記無き柱の柱頭柱脚接合部には「い」以上とすること

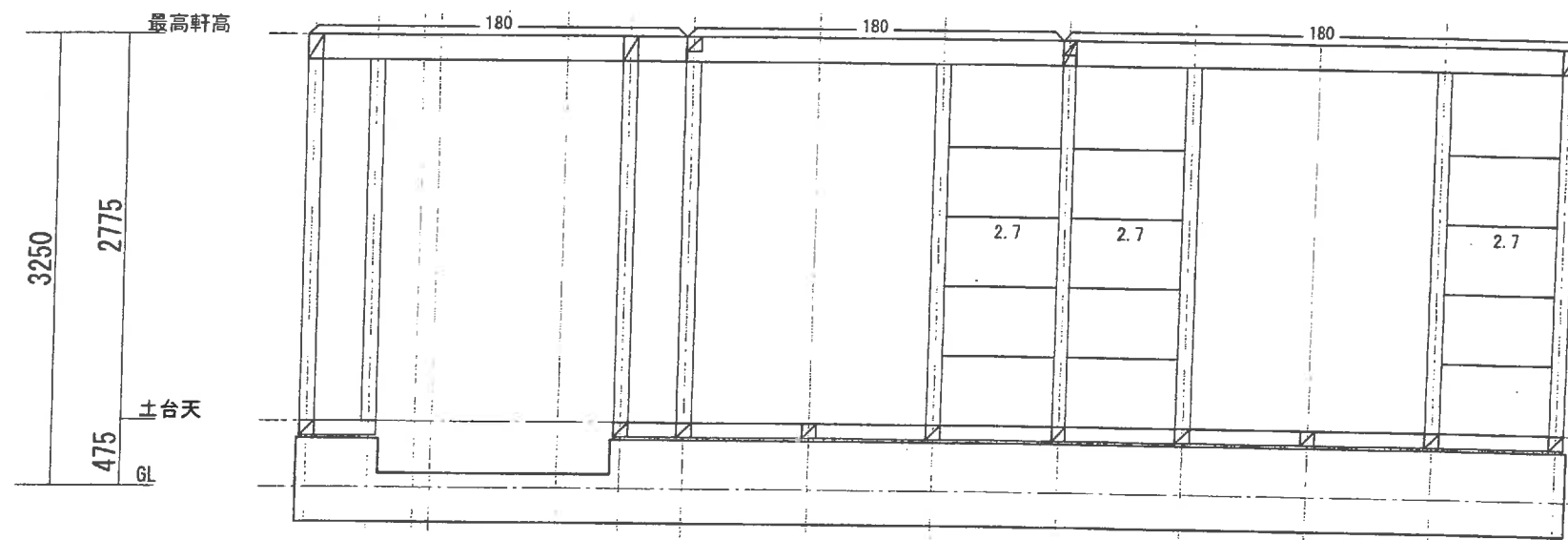
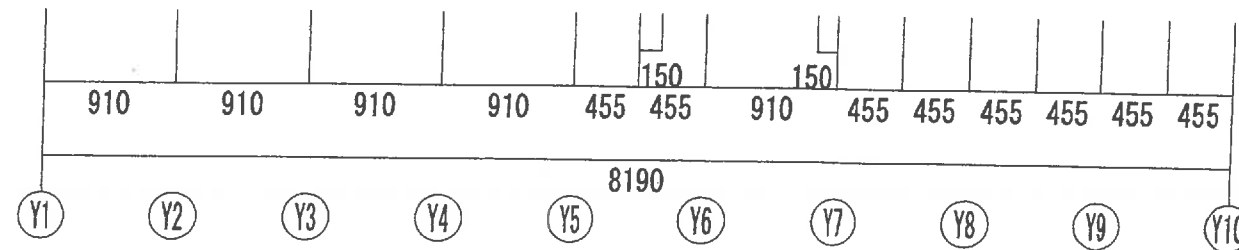


【会社名】株式会社あすなろ相互建設 神奈川県横浜市港北区新横浜2-15-10 YS新横浜ビル5階
 【事務所名】あすなろ設計 二級建築士事務所 神奈川県知事登録 第11141号
 【管理建築士】二級建築士 長野県知事登録 第14786号 竹内規裕

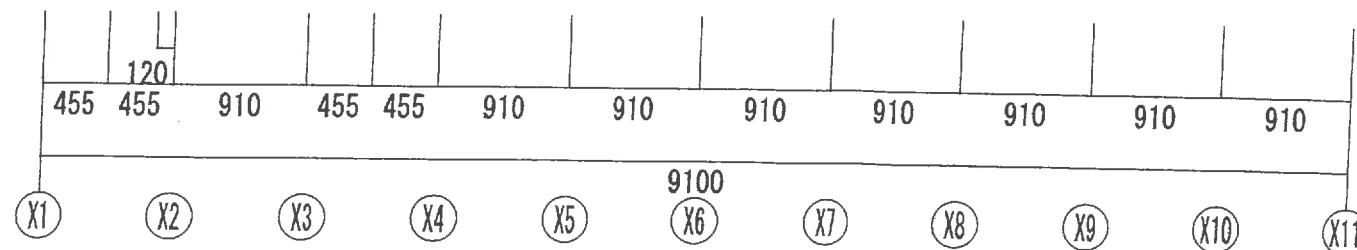
Aタイプ			
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	1階耐力壁・金物配置図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮尺	1/50
摘要		図面番号	S-09
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	株式会社 宮平設計	
	資格者氏名	眞志保 博基	
	登録番号	1級建築士 登録番号 144-333号 1級建築士登録(大臣) 第320987号	
	所在地	神奈川県横浜市青葉区山手町3丁目6番9号	



X1 通り



Y2 通り



- ・有効細長比 $\lambda \leq 150$ に関して、
 - 105角：断面二次半径 $i=30.31$
 - 最大座屈長さ(階高) 4546mm
 - 120角：断面二次半径 $i=34.64$
 - 最大座屈長さ(階高) 5196mm
 - 135角：断面二次半径 $i=38.97$
 - 最大座屈長さ(階高) 5845mm
 - 150角：断面二次半径 $i=43.30$
 - 最大座屈長さ(階高) 6495mm
- 上記より $\lambda \leq 150$ であることを確認する
- ・壁倍率は「耐力壁・金物配置図」に従う
- ・妻面の壁に関しても耐力壁仕様を延長する
- ・柱断面・梁幅及び部材樹種は伏図による

【会社名】株式会社あすなろ相互建設 神奈川県横浜市港北区新横浜2-15-10 YS新横浜ビル5階
 【事務所名】あすなろ設計 二級建築士事務所 神奈川県知事登録 第11141号
 【管理建築士】二級建築士 長野県知事登録 第 14786号 竹内規裕

Aタイプ			
工事名称	令和7年度 渡名喜村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	渡名喜村1835番地1	図面名称	軸組図
発注機関	渡名喜村 経済課	縮 尺	1/50
摘 要		図面番号	S-10
検 印	管理建築士	設 計	名 称 株式会社 宮平設計
		製 図	資格者氏名 岡志保 博基
			登録番号 1級建築士 第144-33号 1級建築士 第320997号
			所 在 地 神奈川県横浜市瀬田区山崎3丁目61番9号